

2025.2.18

第15回副首都推進本部（大阪府市）会議

資料 4

Beyond EXPO 2025

～万博後の大阪の未来に向けて～

《現状報告》

成長戦略検討チーム

目 次

I	大阪経済の動き	…	2
	・大阪経済の動きを踏まえた考察	…	3
	・大阪経済の動き	…	5
II	万博後の持続的な成長に向けた道筋	…	13
	・大阪経済の動きを踏まえたBeyond EXPO 2025の考え方	…	14
	・取組みの方向性	…	19
	（1 投資を呼び込む）	…	24
	（2 インバウンド需要を取り込む）	…	37
	（3 成長を加速する多様な人材の活躍、生産性の向上）	…	46
	（4 成長を支える都市基盤の強化）	…	53
III	今後の進め方	…	64

I 大阪経済の動き

【位置づけ】

- 大阪経済の動きについては、現時点の検討状況を示しており、今後、有識者や民間シンクタンクからの意見聴取等を行いつつ、分析・精査を実施していく

- ◇ 府市一体の成長戦略の着実な実行やインフラ整備、まちづくりの推進などにより、新型コロナによる一時的な落ち込みはあったものの、大阪経済は堅調に推移
- ◇ また、国家プロジェクトである「万博」の決定以降、会場整備やインフラ整備、さらには民間のホテル建設が進むなど、万博の開催は直接・間接的な効果をもたらし、大阪経済に大きなインパクトを与えていると考えられる

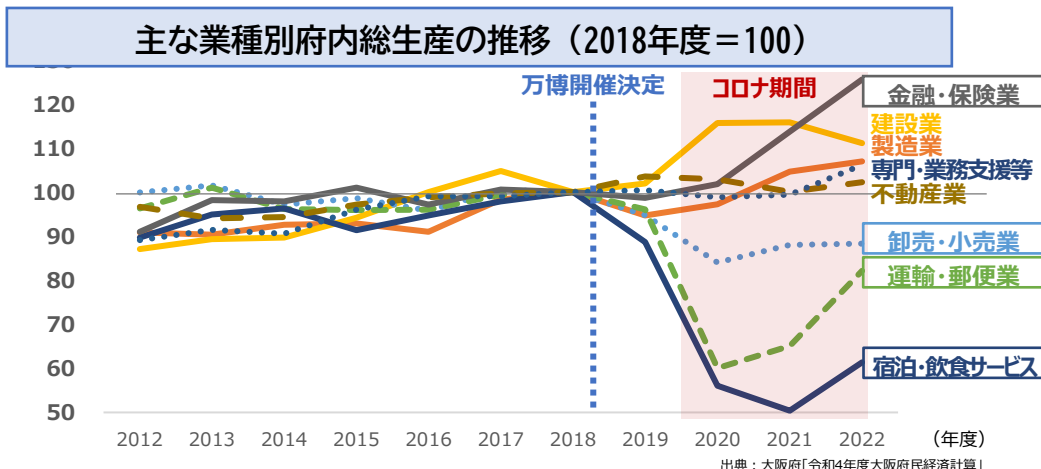
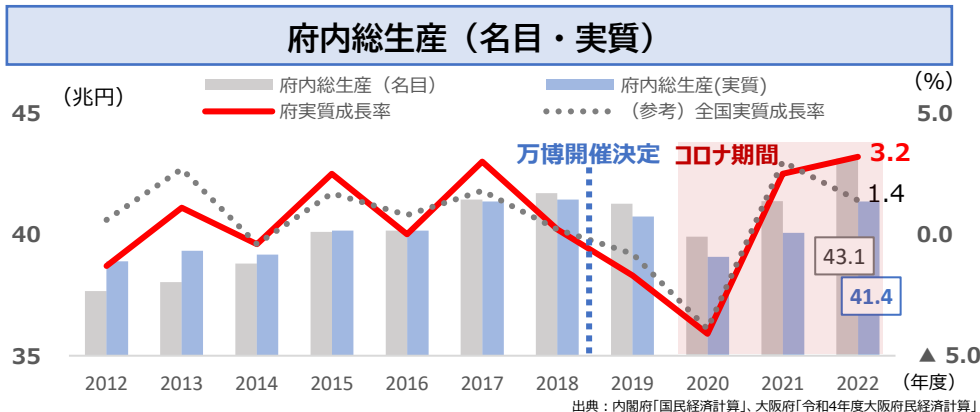
◆最近の大阪経済等の動き

- (経 済) 2022年度の府内総生産(名目)は、建設・不動産業、製造業における設備投資等の活発化により過去最高商業地価も大きく上昇
- (投 資) 製造品出荷額や施工請負契約額が増加。特に、大企業を中心に投資意欲が大きい
- (インバウンド) 2024年の来阪外国人は過去最高となり1,400万人を超える見通し。インバウンドの増加に伴い、宿泊施設・客室数も大幅に増加
- (雇 用) 雇用環境は全国を下回っている状況であるが、その差は縮小傾向。一方で、雇用者数は大きく増加
- (都市基盤整備) うめきた2期先行まちびらき、大阪城東部のまちづくり、夢洲まちづくり、新大阪駅周辺まちづくり、なにわ筋線、淀川左岸線延伸、関空の機能強化(T1リノベ、T2拡張) 等

- ◇ なお、卸売・小売業、運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業等は、コロナにより大きなダメージを受けたが、順調に回復している

I 大阪経済の動きを踏まえた考察(2018年ー2022年の比較)

- 2022年度の名目GDPは43.1兆円と過去最高、実質GDPは41.4兆円で過去3番目、実質成長率は全国(1.4%)を上回る3.2%
- 2018年度以降、産業別でみた場合(左下参照)は、以下の傾向が考えられる
 - ・インフラ整備の進捗や万博需要等により「建設」「製造」「不動産」は民間の設備投資が活発化
 - ・設備投資の活性化や人手不足等を背景に、「専門・科学技術、業務支援サービス」も上昇
- 一方で、コロナ禍の影響を受けた産業分野においては、
 - ・「金融・保険」は、コロナ関連融資で上昇
 - ・「卸売・小売」「運輸・郵便」「宿泊・飲食サービス」は落ち込んだが、順調に回復中

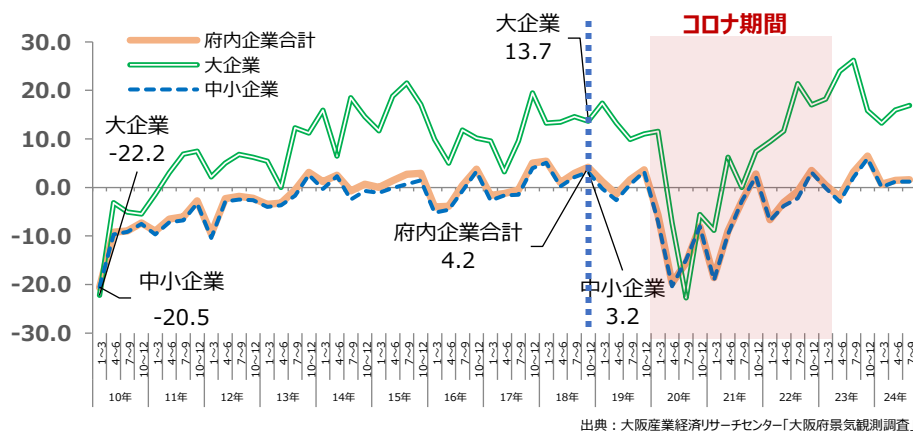


建設業	・大阪府内の施工請負契約額が大きく増加
製造業	・生産用の機械や部品・素材等の出荷額が増加
不動産業	・賃貸用の新設住宅着工戸数が増加 ・オフィス空室率は、長期的に下降傾向。東京都との差は最大3.6ポイントあったが、2019年以降は東京都を下回る水準で推移
金融・保険業	・府内の銀行貸出金は増加傾向。2023年度以降は、物価高騰対策の融資等により引き続き増加傾向であり、高水準
専門・業務支援等	・転職者増加や働き方の多様化により、全国的に有料職業紹介や労働者派遣が増加
卸売・小売業	・大阪市内の百貨店売上は、2024年には、20年ぶりに1兆円を突破 ・来阪外国人旅行者数は、2024年に過去最高の見通し ・卸売業の商品販売額は、活発な経済活動を背景に増加
運輸・郵便業	・関西国際空港旅客数は、2023年には国内便が過去最高の2017年と同水準。国際線・国内線を合わせても、過去最高の2018年の約9割
宿泊・飲食サービス業	・宿泊施設数、客室数は、増加傾向であり、万博決定後の2019年に大幅な増加 ・宿泊施設の稼働率は、2024年11月には83.2%となり、高い水準を記録

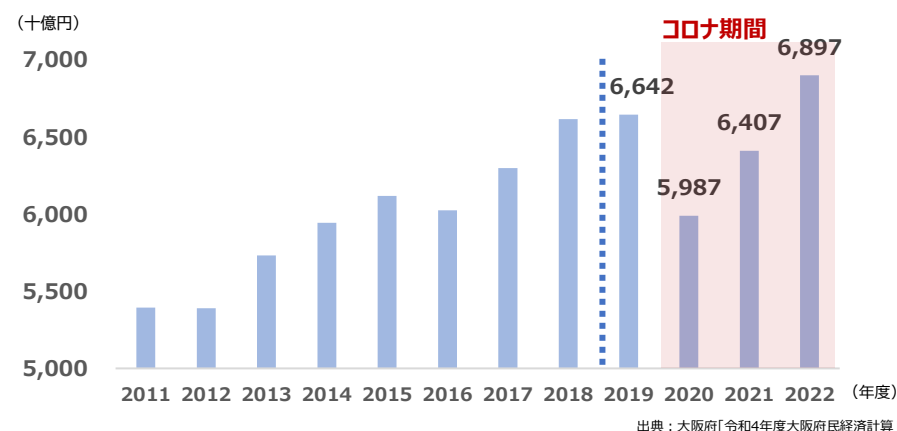
※今後、有識者や民間シンクタンクからの意見聴取等により分析、精査を実施

- これまでの府市一体のインフラ整備の進捗や万博に向けた準備等により「建設」「製造」分野における民間投資の活発化が見てとれる
- ・企業設備投資額は大きく増加しており、設備投資動向も大企業では大きく上昇
 - ・施工請負契約額は、横ばいで推移していたが、2019年以降は大きく増加
 - ・製造業出荷額は大きく増加。特に、生産用機械など「はん用・生産用・業務用機械」や、部品・素材となる「一次金属」「化学」が増加

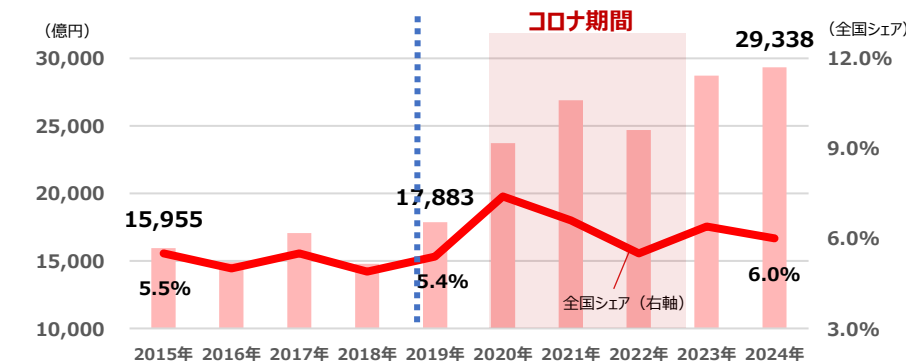
大阪府内の設備投資動向



大阪府内の企業設備投資額



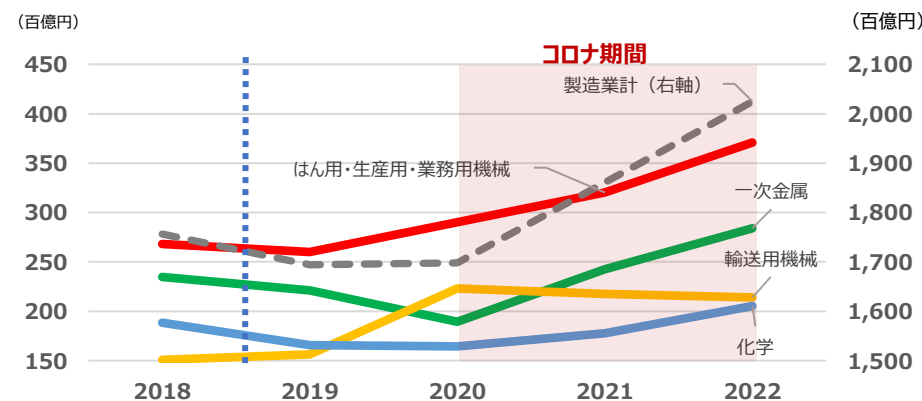
大阪府内の施工請負契約額



※ 施工請負契約額は、「公共機関からの受注工事（1件500万円以上の工事）」と「民間からの受注工事（建築工事・建築設備工事（1件500万円以上の工事）」、「土木工事及び機械装置等工事（1件500万円以上の工事）」を合算

出典: 国土交通省「建設工事受注動態統計調査報告」より作成

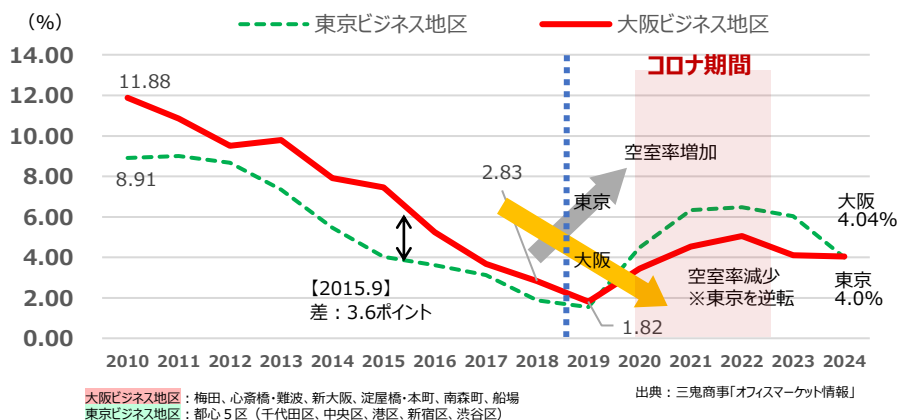
産業中分類別の製造品出荷額（上位4分類）



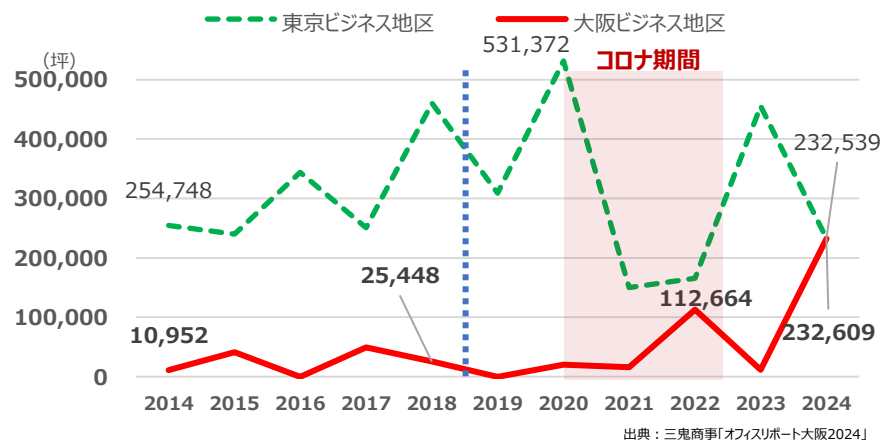
I 大阪経済の動き 《 オフィス空室率・オフィスビル新規供給量・新設住宅(貸家)着工戸数・商業地価》

- 府市一体のまちづくり、インフラ整備により、都市の魅力が高まる等、「不動産」分野における民間投資は活発化。万博関連の開発やインバウンド需要を見越したホテル開発なども地価上昇に寄与していることが推測される
 - ・オフィスビルの供給量や賃貸用の新設住宅の着工戸数が大幅に増加。特に、オフィス空室率は長期的に下降。東京都との差が最大3.6ポイントあったが、2019年以降は、東京都を下回る水準で推移
 - ・商業地価は全国・東京を上回る伸び率で推移

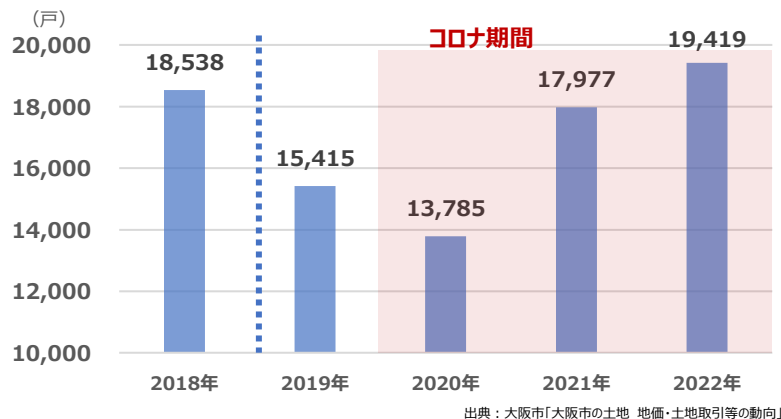
オフィス空室率



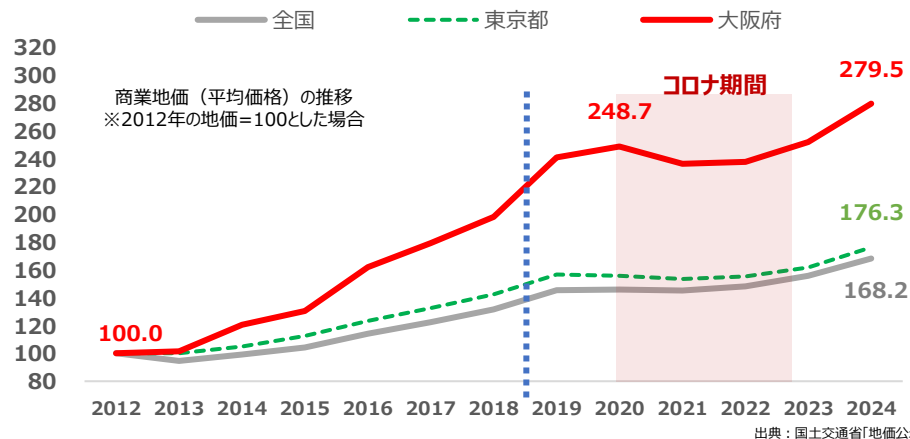
オフィスビルの新規供給量



大阪市内の新設住宅（貸家）着工戸数

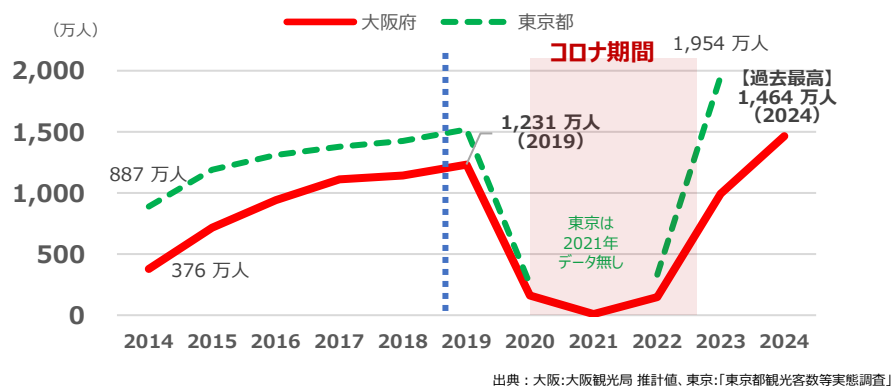


商業地価

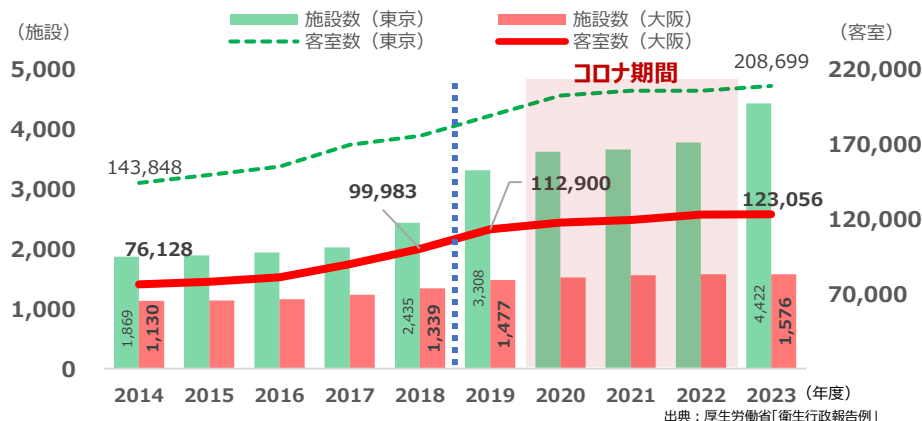


- 「飲食・宿泊」や「運輸・郵便」はコロナによりダメージを受けたが、2024年にインバウンドが過去最高の見通しなど、直近では回復
- 宿泊施設数・客室数は、大きく増加しており、増大するインバウンド需要や、約2,800万人が来場する万博に向けて伸びていると考えられる
 - ・来阪外国人旅行者数は、2024年に過去最高の1,464万人(大阪観光局発表(推計値))の見通し
 - ・客室稼働率は、直近(2024年11月)で83.2%と、高い稼働率に到達

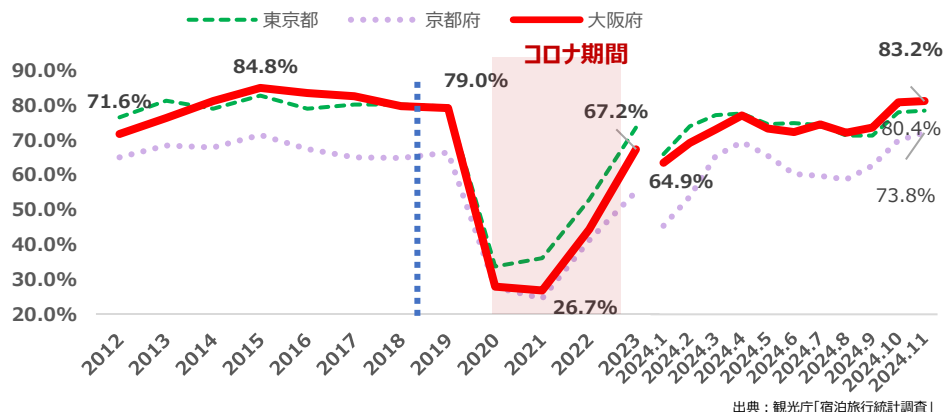
来阪外国人旅行者数



宿泊施設数・客室数



宿泊施設の客室稼働率



【参考】大型ホテルの開業(APIR資料より)

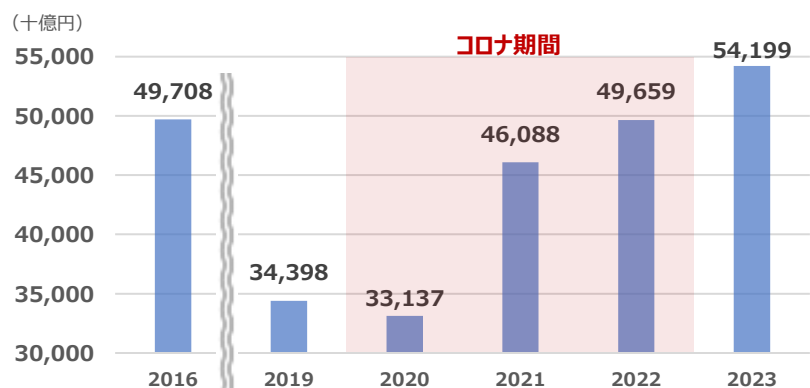
※範囲：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

年	件数
2019年	9件
2020年	14件
2021年	7件
2022年	6件
2023年	8件
2024年	13件
2025年	6件

I 大阪経済の動き 《卸売業商品販売額、百貨店販売額、銀行貸出金》

- 「卸・小売」はコロナにより大きなダメージを受けたが、順調に回復し、直近データではコロナ前を上回る
 - ・卸売業商品販売額は、大幅に増加。生産活動を支える建築・金属材料、機械器具関連の販売額が約半分
 - ・大阪市内の百貨店販売額は2024年には20年ぶりに1兆円を突破
- 「金融・保険」は、継続的に増加。府内の銀行貸出金は、コロナ禍での無利子・無担保融資や、物価高騰対策の融資により増加

大阪府の卸売業商品販売額



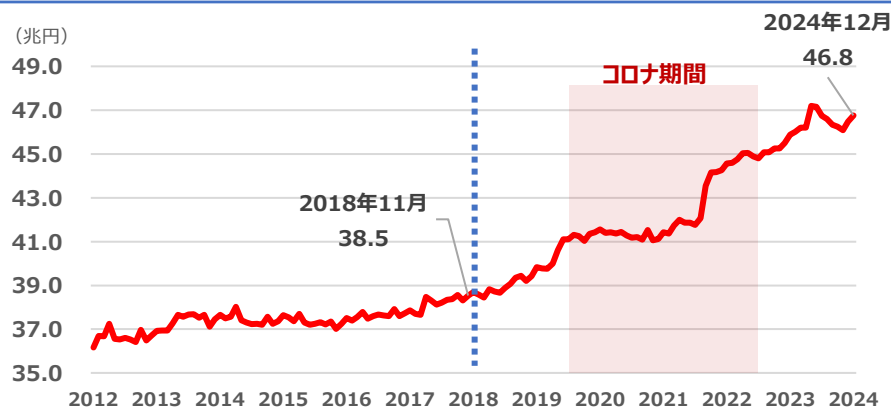
出典：総務省統計局「経済構造実態調査」（2019年から実施）、経済産業省「経済センサス」（2016年、2021年の実績）

大阪市内の百貨店販売額



出典：日本百貨店協会「地域別売上高」

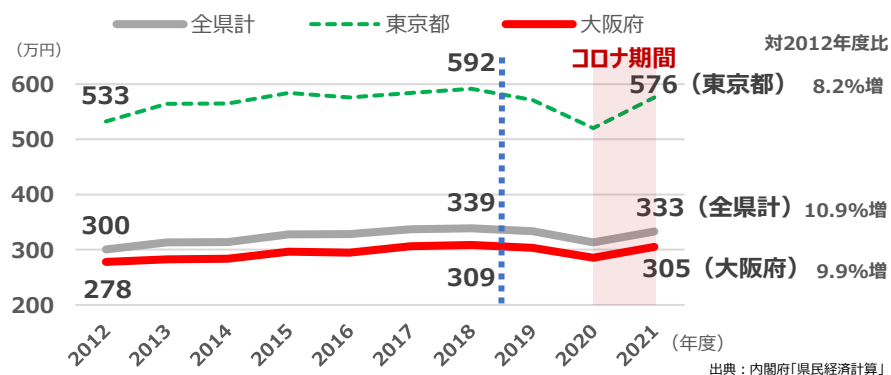
大阪府内の国内銀行貸出金



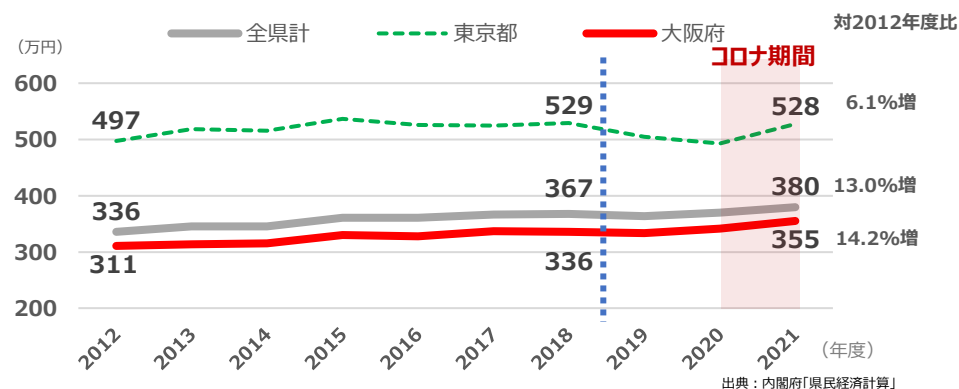
出典：日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金（国内銀行）」

- 一人当たり府民所得は増加傾向にあるが、依然として全国を下回る水準・伸び率
- 一人当たり可処分所得は近年は全国水準並みの伸び率で増加
- 雇用者数は全国を上回る増加を見せている一方で、一人当たり雇用者報酬は微増にとどまる

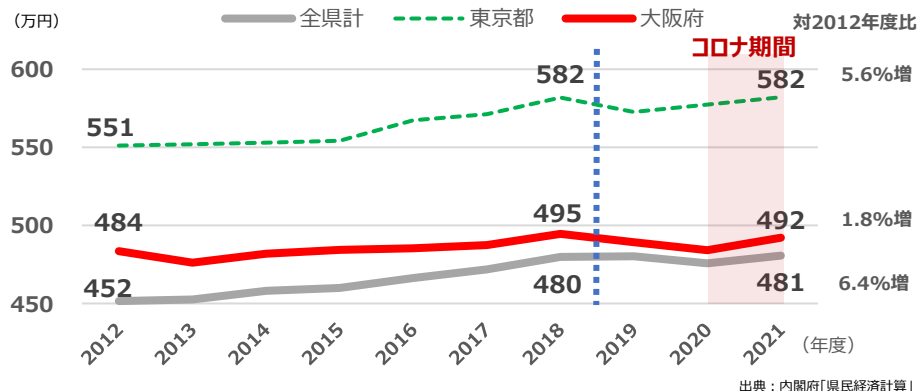
一人当たり府民所得



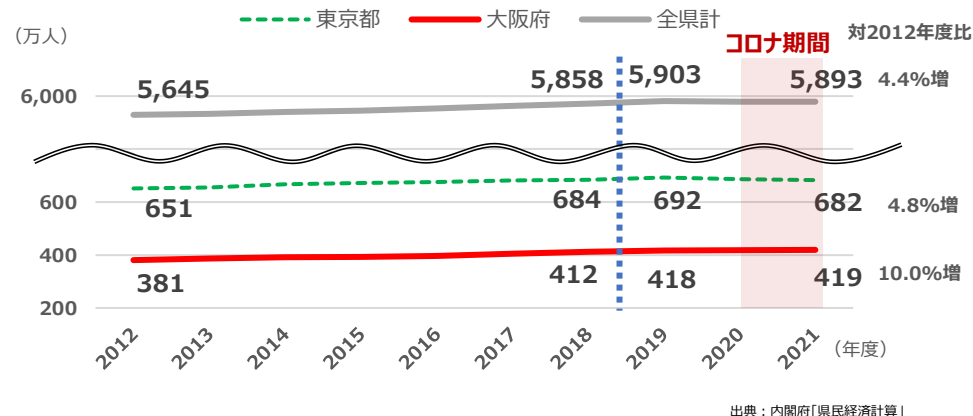
一人当たり可処分所得



一人当たり雇用者報酬



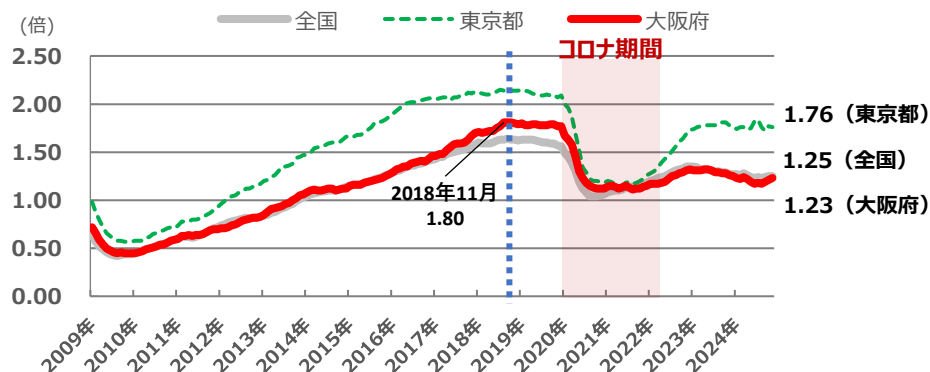
雇用者数の推移



I 大阪経済の動き 《 有効求人倍率・完全失業率・産業別求人充足率・就業率 》

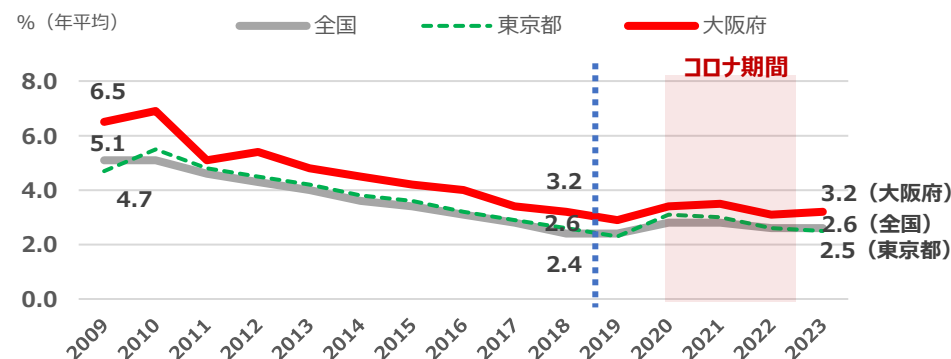
- 有効求人倍率は増加傾向で推移していたが、近年はほぼ横ばいで推移
- 完全失業率は全国を上回る水準も差は縮小傾向で回復。近年は全国との差は横ばい
- 産業別の充足率は全産業で低下傾向、近年は人手不足がより顕著に
- 就業率は増加傾向で推移する中、近年は大きく上昇、全国との差は縮小傾向

有効求人倍率



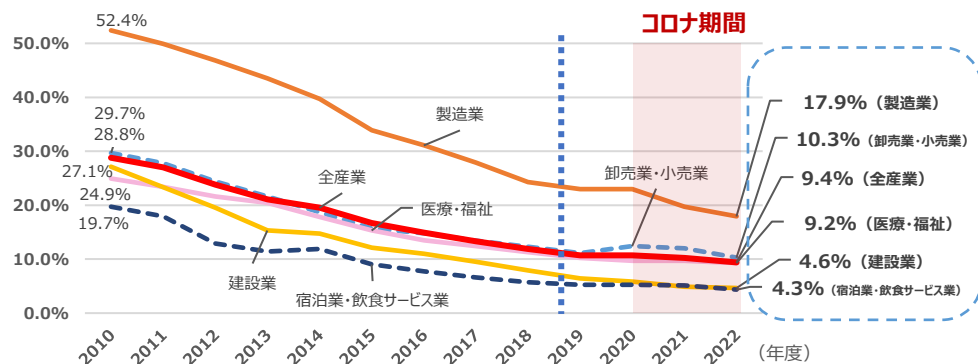
出典：厚生労働省「職業安定業務統計」

完全失業率



出典：総務省「労働力調査」、大阪府「労働力調査地方集計結果」、東京都「東京の労働力」

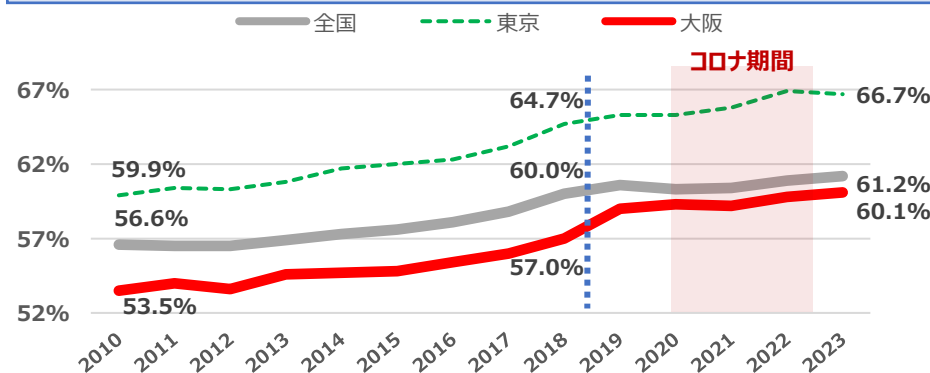
産業別求人充足率



※充足率…求人数に対する充足された求人の割合

出典：大阪労働局「統計年報」より作成

就業率



出典：総務省「労働力調査」

- まちづくり・インフラなどは、府市一体の成長戦略の実行等により、まちづくり拠点開発や交通ネットワークの整備が確実に進んでいる。また、民間においても、ホテル建設、バイエリアでの産業拠点開発などの動きが起きている
- イベントは、万博開催に向けて国際的なイベントも多数計画

【2018年11月】
万博開催決定



2013 → 2018

2019 → 2024

【2025年4月～10月】
大阪・関西万博

【凡例】

- : 開業・決定等
- ◎ : 今後の予定

まちづくり・インフラ

まちづくり

インフラ

- グランフロント大阪
 - 都市再生緊急整備地域指定・京橋駅周辺拡大
 - 中之島フェスティバルシティ
 - なんばスカイオ

- 関空LCC専用第2T拡張
- 新名神（高槻～神戸）

- 国立循環器病センター（健都）
- 関空アイスアリーナ
- 泉南ロングパーク

- おおさか東線延伸
- 阪神高速大和川線

- 箕面船場駅前地区まちづくり拠点施設
- 都市再生緊急整備地域指定・新大阪駅周辺・森之宮周辺
- 梅田ガーデン
- 阪神百貨店建替

- 国立健康・栄養研究所（健都）
- なんばパークスサウス
- ららぽーと門真
- 万博記念公園駅前周辺地区活性化協定締結

- うめきた新駅
- なんば駅前広場

- JPタワー大阪
- イノゲート大阪
- グラングリーン大阪

- 北大阪急行延伸

- ◎ 淀屋橋駅東地区・西地区

- 外環中央線延伸
- ◎ 中之島GATE

【2026年以降】

- ◎ IR建設
- ◎ 夢洲2期
- ◎ 大阪マルビル建替

【2026年以降】

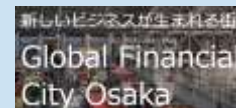
- ◎ なにわ筋線
- ◎ 大阪モノレール延伸
- ◎ 阪神高速11左岸線
- ◎ 北陸新幹線
- ◎ リニア中央新幹線
- （夢洲アクセス鉄道・JR桜島線延伸・京阪中之島線延伸）

関西国際空港



発着回数30万回
ターミナル機能の強化等

国際金融都市



- 金融をテコに発展するグローバル都市
- 金融のフロントランナー都市

統合型リゾート（IR）



世界最高水準の成長型IR

産業

- NITE
大型蓄電池試験・評価施設

- e-メタン大規模製造共同検討開始（大ガス・ENEOS）
- 水素・アンモニアサプライチェーン構築覚書締結（三井化学・IHI等）

- 中之島クロス開業
- AIデータセンター基本合意締結（現シャープ堺工場を活用）
- ペロブスカイト太陽電池量産拠点建設決定（現シャープ堺工場を活用）
- SAF大規模製造工場完工

- ◎ 水素燃料電池船旅客運航開始
- ◎ My iPSプロジェクト提供開始（中之島クロス）



イベント

- Red Bull X-Fighters

- ワールドベースボールクラシック強化試合
- エド・シーランコンサート

- G20大阪サミット
- ラグビーワールドカップ

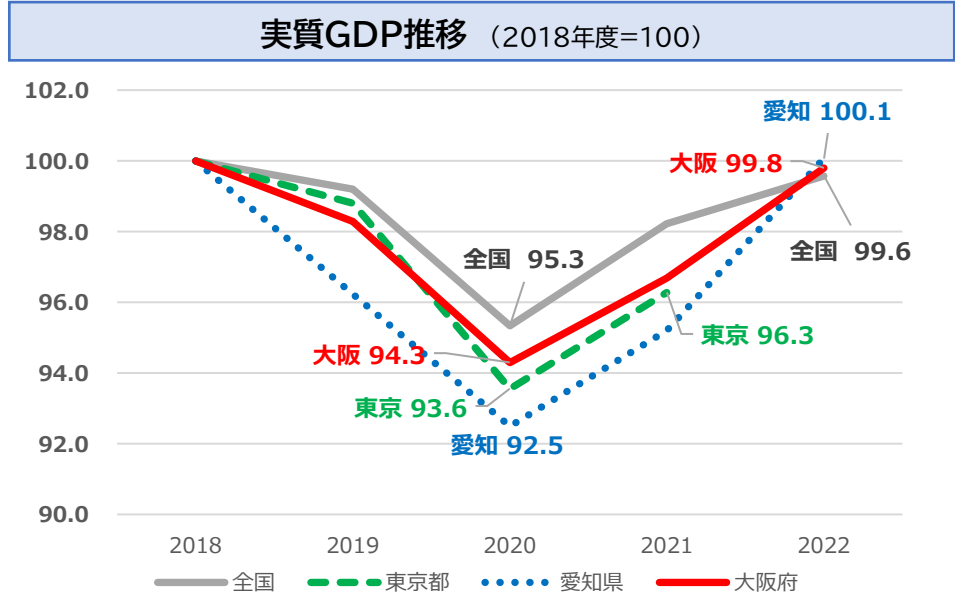
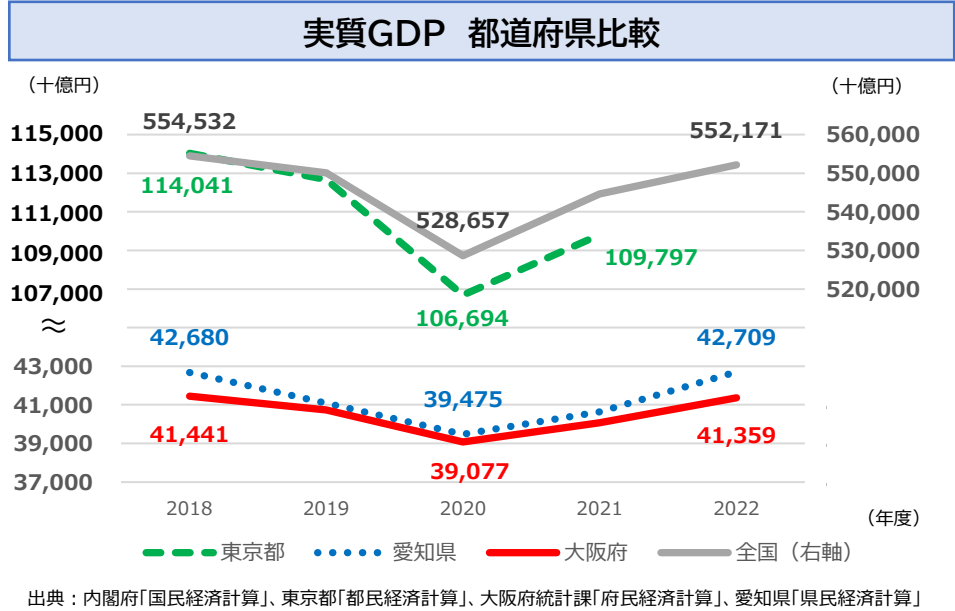


- G7大阪・堺貿易大臣会合
- ワールドベースボールクラシック強化試合
- パリサンジェルマン親善試合

- ◎ ジャパンハリス
- ◎ Global Startup EXPO 2025
- ◎ X Games Osaka 2025
- ◎ インターナショナルアート
- ◎ 大阪城西の丸新能2025
- ◎ 大阪光の饗宴2025
- ◎ クラシック・イベント
- ◎ ヨットイベント等



【参考】大阪経済におけるコロナの影響・回復状況



【コロナからの回復の動き】

概 要	・大阪の実質GDPは、コロナの影響による落ち込みが全国よりも大きく5.7%減少。東京都(6.4%減)・愛知県(7.5%減)よりも減少幅は小さい ・2022年度には、全国的にコロナ前の水準を回復
-----	--

(業種ごとの分析)

建設業	・コロナ禍においても 増加傾向 。2018年度から 11.1%増加
製造業	・2021年度にコロナ前の水準を回復し、増加傾向。2018年度から 7.0%増加
不動産業	・コロナ禍でも不動産業全体では 2.3%増 。特に住宅賃貸業は4.7%増と、継続的に増加
金融・保険業	・コロナ禍での無利子・無担保融資等により、大幅に増加。2018年度に比べ 25.6%増
専門・科学技術等	・特にコロナ禍での増減は見られず、2022年度に有料職業紹介や労働者派遣業の伸び等によって増加。2018年度に比べ 6.2%増
卸売・小売業	・2020年度にコロナ前の 84.1%に落ち込み 。東京都(82.6%)、愛知県(84.5%)と同程度 ・2022年度も、コロナ前の88.3%に落ち込んだ状態
運輸・郵便業	・2020年度にコロナ前の 60.0%に落ち込み 。 東京都(64.3%)や愛知県(67.1%)より落ち込みが大きい ・2022年度もコロナ前の82.2%に落ち込んだ状態
宿泊・飲食サービス業	・2021年度に最も落ち込んでおり、 コロナ前の50.4% 。 東京都(61.9%)や愛知県(52.9%)より落ち込みが大きい ・2022年度も、コロナ前の61.3%に落ち込んだ状態

Ⅱ 万博後の持続的な成長に 向けた道筋 (現時点の検討状況)

【位置づけ】

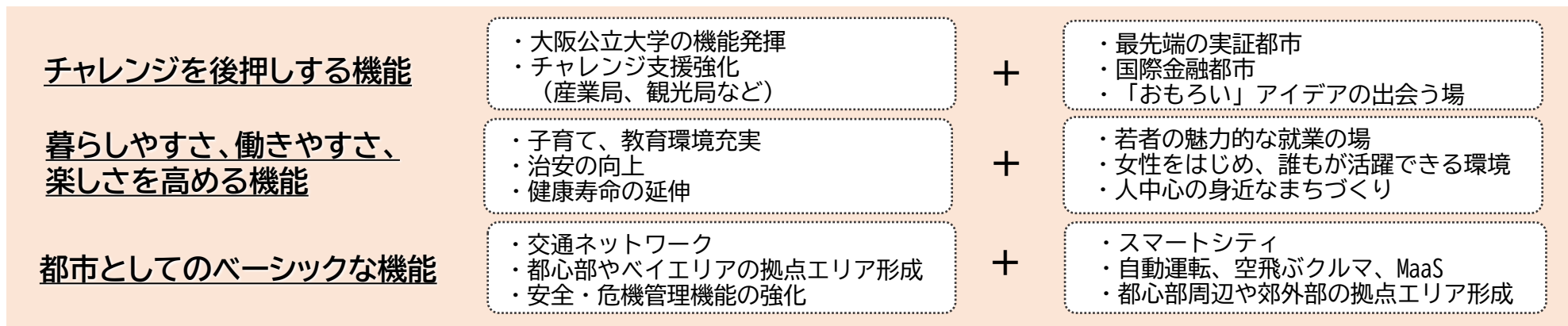
○副首都ビジョンにおける持続可能な成長(GDP 年平均2%目標)の達成に向けては、これまでの府市一体の成長戦略等の継続に加え、万博のインパクトを活かして、より大阪の成長を押し上げるための、「さらなる取組み」が必要

○現時点の検討状況を報告するとともに、今夏の「Beyond EXPO 2025(案)」の取りまとめに向けた、今後の方向性について議論いただく。
本日の議論を踏まえ、今後、タスクフォースにおいて具体の施策の検討を進めていく

II 大阪経済の動きを踏まえたBeyond EXPO 2025の考え方

- 府内総生産（名目）は2022年度に過去最高。全国を上回る伸びを示すなど大阪経済は堅調に推移
 - 大阪経済の好影響が出ているこの機を捉え、さらなる投資を続け、大阪経済の成長をさらに加速させていく必要
- ⇒副首都ビジョン（改定版）では、2050年代に経済規模を現在の約2倍にする目標。「チャレンジを後押しする機能」「暮らしやすさ、働きやすさ、楽しさを高める機能」「都市としてのベーシックな機能」を柱に位置づけ
- ⇒こうした取組みに加えて、万博のインパクトを最大限活用して、大阪の成長をさらに押し上げ

【副首都ビジョン（改定版）取組みの方向性】

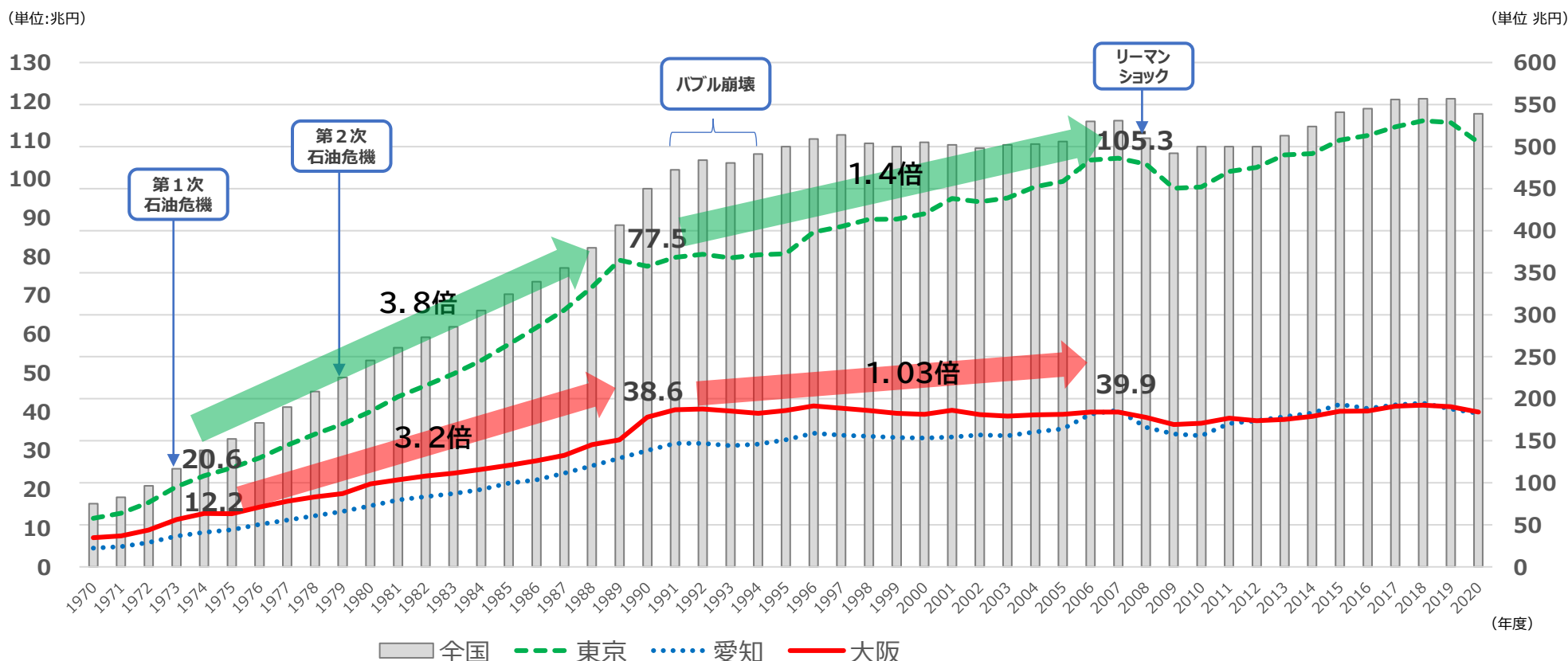


万博のインパクト（新技術・サービスの実装・産業化の推進、インバウンドの増加 等）

万博後の持続的な大阪の成長を実現

- 1973年の域内総生産は、東京20.6兆円、大阪12.2兆円
- オイルショック以降、成長に差が生じ、1990年 東京は77.5兆円（約3.8倍）、大阪は38.6兆円（約3.2倍） ※1973比較
- バブル崩壊以降、東京の経済成長は一時横ばいとなるが、再び上昇。大阪は停滞
（2007年 東京105.3兆円（約1.4倍） 大阪39.9兆円（約1.03倍）） ※1990比較

県内総生産（名目） 比較（東京・愛知・大阪）



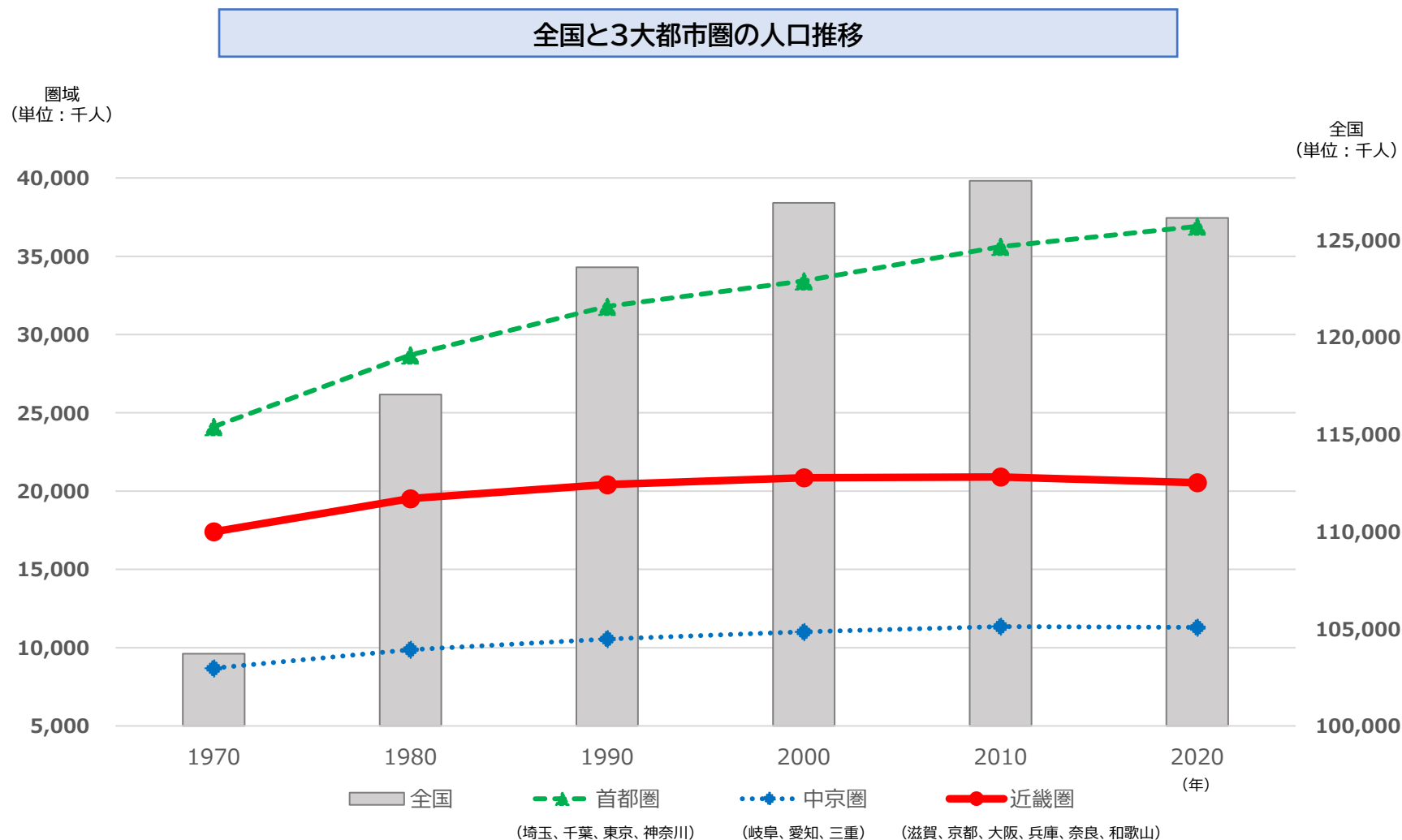
出典：内閣府「国民経済計算」、内閣府「県民経済計算」

※基準が異なるデータを接続しているため、参考値である点留意

1970～74年（1968SNA、昭和55年基準計数）、1975～89年（1968SNA、平成2年基準計数）、1990～95年（1993SNA、平成7年基準計数）、1996～2000年（1993SNA、平成12年基準計数）、2001～2005年（1993SNA、平成17年基準）、2006～2010年（2008SNA、平成23年基準）、2011～2020年（2008SNA、平成27年基準）

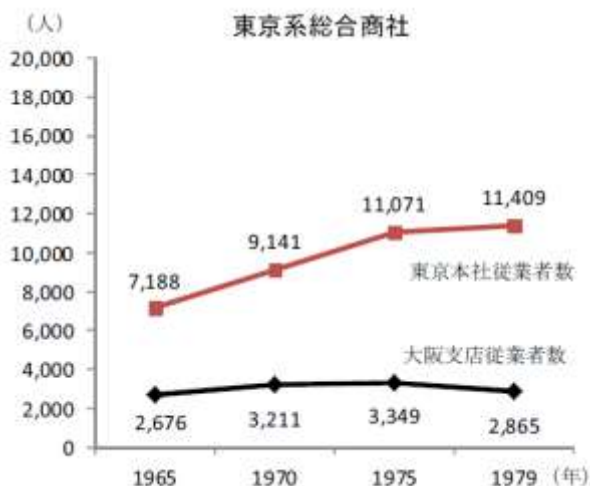
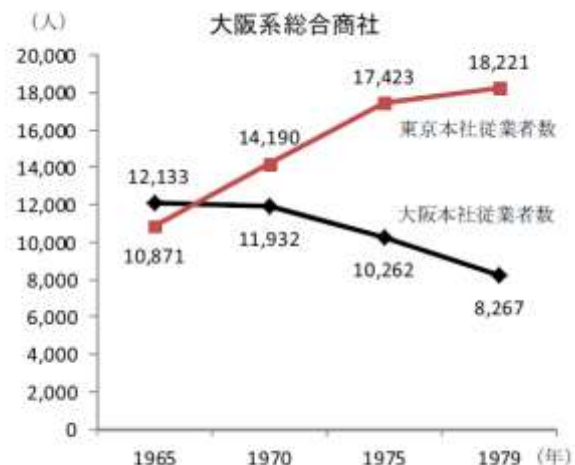
【参考】1970年万博後における大阪経済の低迷要因(要因分析① 東京一極集中)

- 首都圏 1970年 2,411万人(全国シェア約23%)から2020年 3,691万人(約29%)と人口の集中が進む
- 近畿圏 1970年 1,740万人(約17%)から2020年 2,054万人(16%)



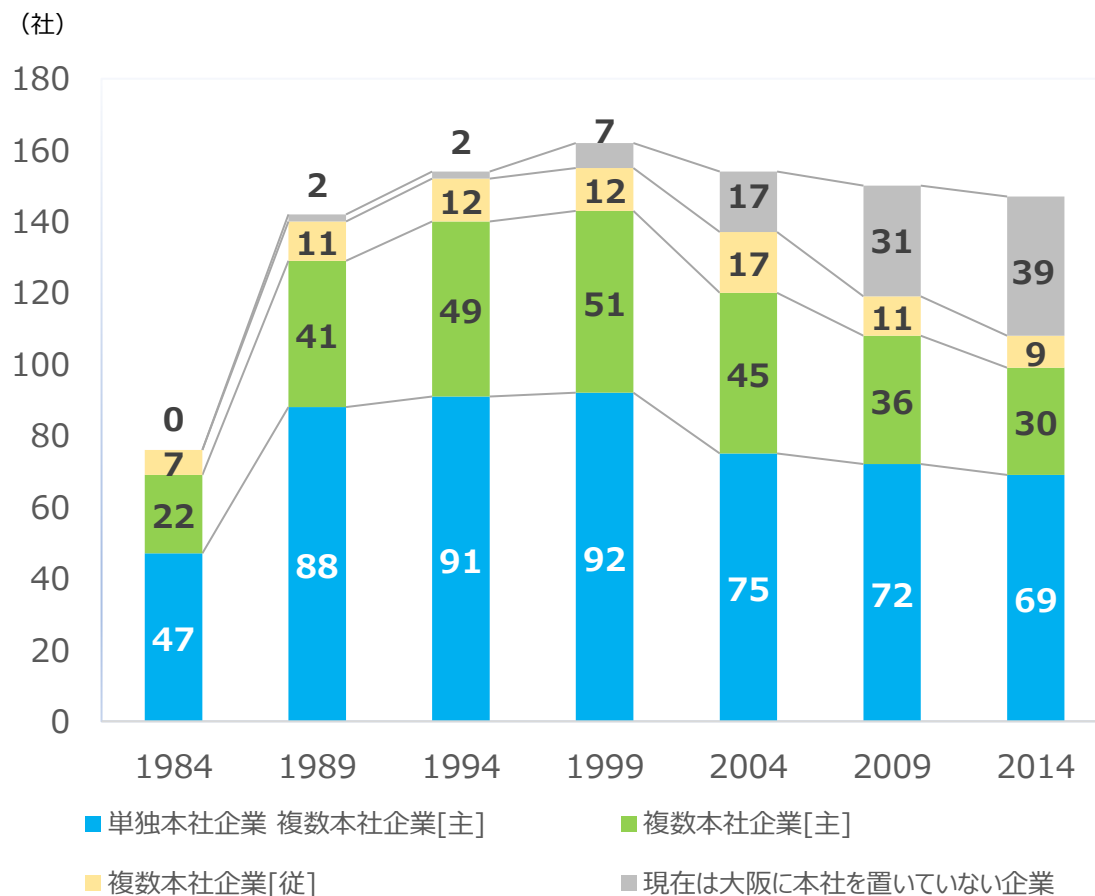
- 総合商社は1965年以降、東京へのシフトが進む
- 100億円以上の大企業の本社は、1990年代後半から移転が進む

総合商社の従業員配置の推移



出典：大阪府立商工経済研究所（1980）p.172の第Ⅱ-4-5表より作成
原資料は、大蔵省印刷局『有価証券報告書』

大阪府における資本金100億円以上の企業の本社数の推移

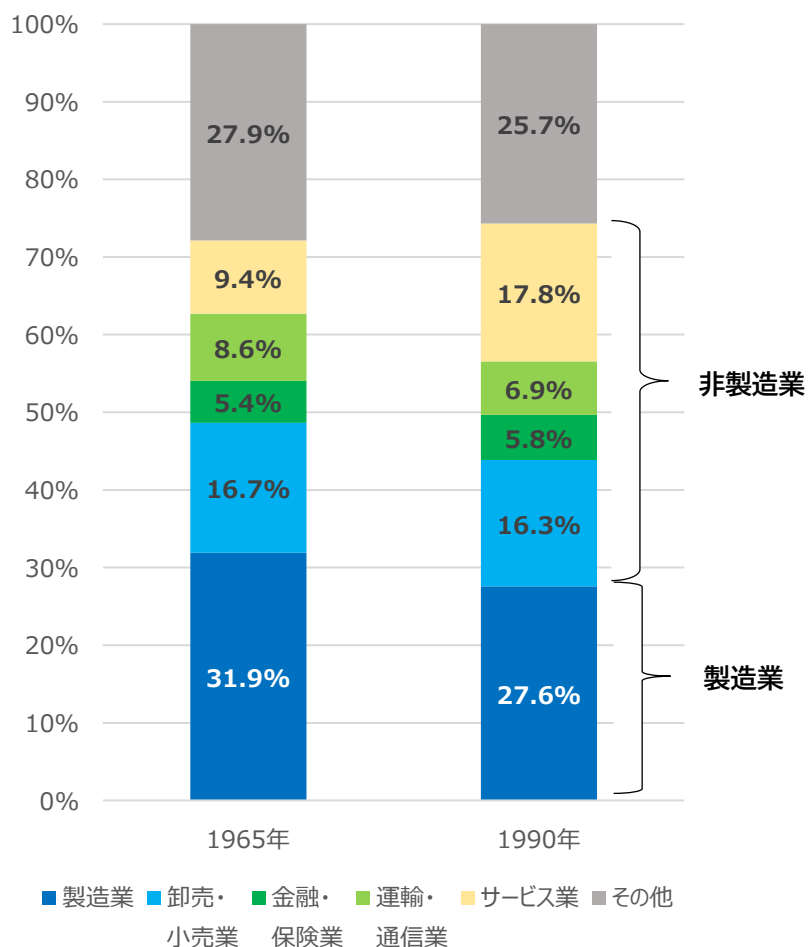


出典：万博のインパクトを活かした大阪の将来に向けたビジョンより作成

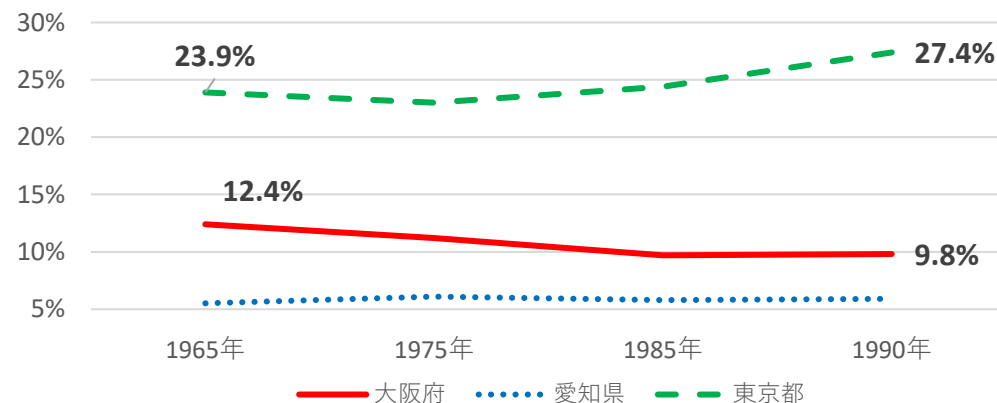
【参考】1970年万博後における大阪経済の低迷要因(要因分析② 産業構造の転換)

- 製造業 1965年～1990年で減少(31.9%→27.6%)
- 「卸売・小売」、「金融・保険」、「運輸・通信」、「サービス」の非製造業(以下 非製造業) は、増加(40.1%→46.8%)
- 製造業は、東京、大阪は全国シェアを大きく落とす一方で、愛知は堅実に拡大
- 非製造業は、東京がシェアを拡大。大阪は減少

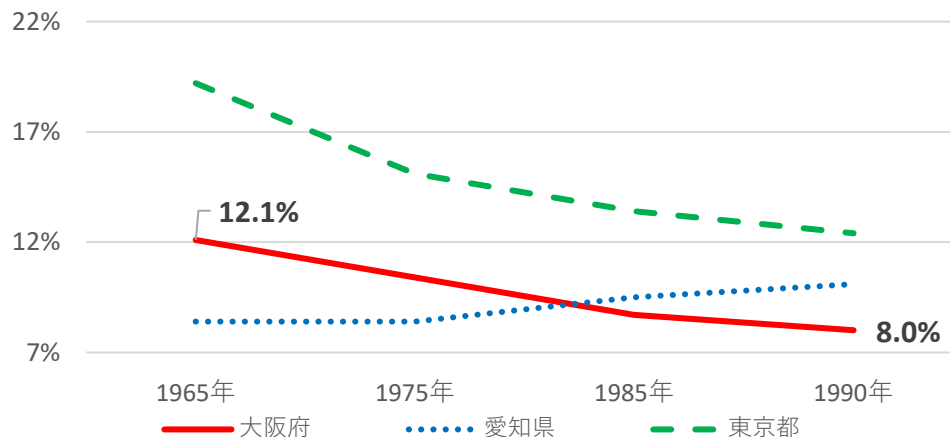
産業別構成比の推移(全国)



非製造業のシェア比較(大阪府、愛知県、東京都)



製造業のシェア比較(大阪府、愛知県、東京都)

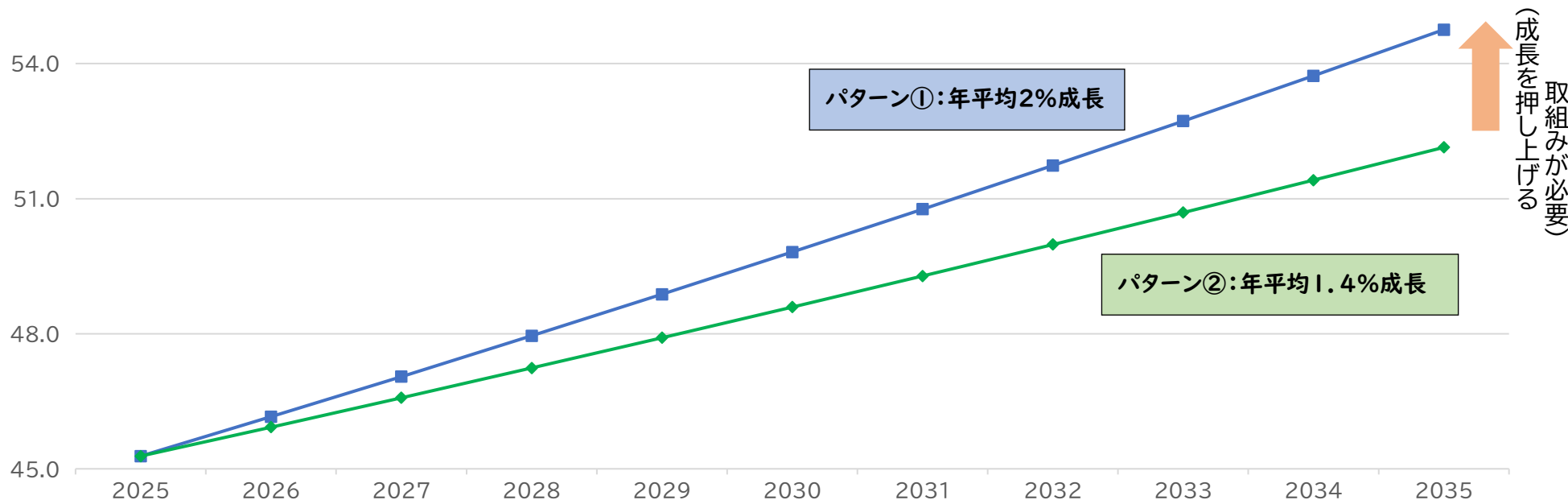


- 副首都ビジョンでは、大阪の経済ポテンシャルや経済力を把握する総合指標として、大阪のGDP目標(年平均2%成長)を設定
 - ・2030年に、大阪のGDP国内シェアを 9%(経済規模 50兆円)
 - ・2040年に、大阪のGDP国内シェアを10%(経済規模 60兆円)
- コロナ前の大阪の実質経済成長率は平均約1.4%(2015～2018年度)であるが、2022年度は全国(1.4%)を上回る3.2%を記録。今の流れを止めることなく、大阪の成長をさらに押し上げていくためには、万博後も継続的な投資を呼び込んでいくことが必要

◆成長シミュレーション 《パターン①》副首都ビジョンの年平均2%成長 《パターン②》コロナ前の年平均1.4%成長

【シミュレーションの前提】

2022年度の府内実質GDPは約41.4兆円を踏まえ、万博特需やIR建設関連投資、インフラ整備、民間を含む不動産開発の活発化等により引き上がると想定し、2022年度の実質成長率(約3%)を横置きして2025年度は約45兆円と想定



Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 取組みの方向性 ～

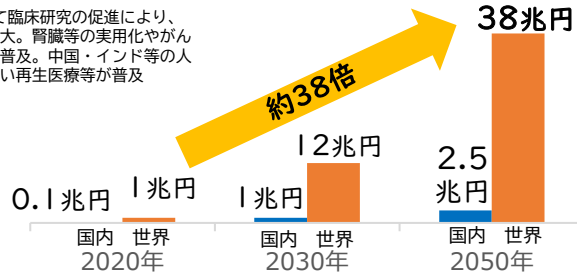
◆今後成長が見込まれる産業分野・市場

成長産業

ライフサイエンス・ヘルスケア分野

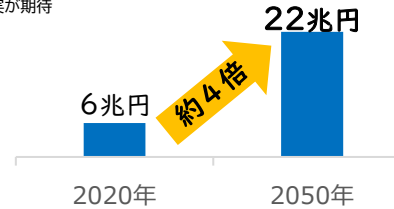
再生医療等製品【国内・世界】

・iPS細胞等について臨床研究の促進により、再生医療領域が拡大。腎臓等の実用化やがん免疫細胞療法等に普及。中国・インド等の人口増や所得増に伴い再生医療等が普及



ヘルスケア関連産業【国内】

・サプリメント・健康食品等商品・サービス分野の成長に加え、PHRを活用した新たなサービスの創出等によりヘルスツーリズムの充実が期待

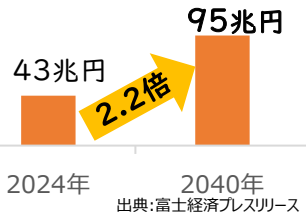


出典:経済産業省

カーボンニュートラル分野

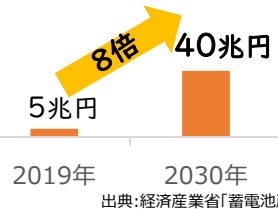
水素・アンモニア【世界】

・車両用や発電用の伸びが期待でき、特に、2030年頃から燃料電池車向けが大きく増えると見込まれる



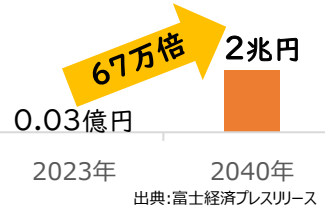
蓄電池【世界】

・EV市場の拡大に伴い、市場が急拡大すると見込まれる

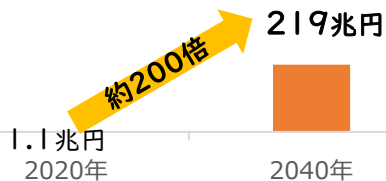


ペロブスカイト太陽電池【世界】

・本格的な量産が2020年代後半になり、中国をはじめ海外企業が大規模生産体制を構築する計画が増加



モビリティ分野 (空飛ぶクルマ)

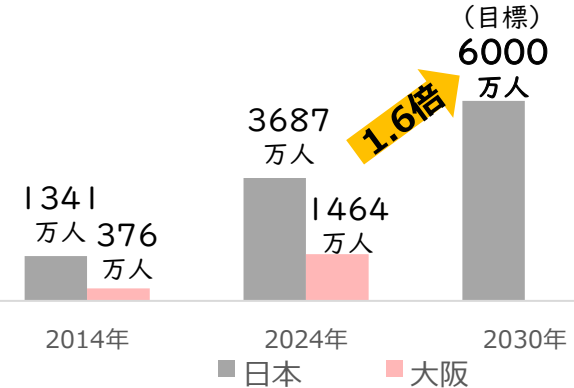


・2040年に中国では約65兆円、米国が約50兆の市場見込み。乗客輸送だけでなく貨物など様々な分野での利用が期待

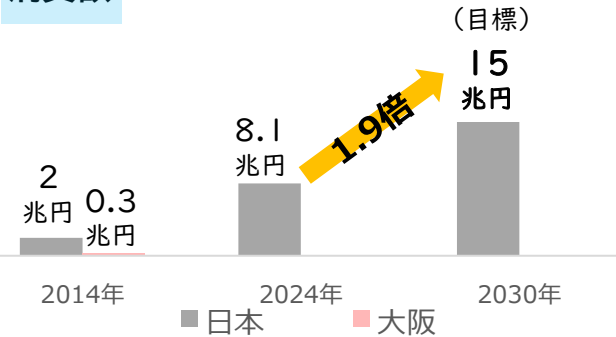
出典:モルガンスタンレー「Are Flying Cars Preparing for Takeoff?」

インバウンド

旅行者数



消費額



こうした成長分野について、いかに大阪が市場を取り込めるかが課題

- 副首都ビジョンで掲げる「チャレンジを促す経済政策」や「チャレンジを後押しする機能」、「暮らしやすさ、働きやすさ、楽しさを高める機能」、「都市としてのベーシックな機能」の充実を進めていくにあたり、万博のインパクトを最大限活用して、「Beyond EXPO 2025」において取り組むべき項目(たたき台)を整理

◆成長を押し上げるために取り組む項目(たたき台)

1. 投資を呼び込む

- 例) ・万博で披露される新技術・製品の社会実装・産業化の促進
・スタートアップの創出・成長の促進
・国内外からの投資の呼び込みの強化

2. インバウンド需要を取り込む

- 例) ・「大阪の魅力」を活かした新たなコンテンツの創出
・おもてなし体制の充実
・ターゲットに刺さる魅力発信

3. 成長を加速する多様な人材の活躍、生産性の向上

- 例) ・新たな労働力の確保
・人材育成・キャリアアップの強化
・企業の経営革新

4. 成長を支える都市基盤の強化

- 例) ・成長インフラの整備（まちづくり、交通、空港 等）
・ベイエリアの活性化
・東西都市軸(夢洲周辺、大阪城公園周辺 等)の強化
・地域の拠点機能の強化

オール大阪で実行

持続的な成長(実質2%成長)
を実現し、
・賃上げ
・雇用創出
・DXを活用したQoLの向上
・教育・福祉の充実
・健康・医療への支援の強化
などへつなげていく

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 取組みの方向性 ～

- 「成長を押し上げるために取組む項目(たたき台)」の4つの取組み(投資、インバウンド、人材・生産性向上、都市基盤)の方向性を検討するために、5つのタスクフォースを設置
- 各タスクフォースにおいて、4つの取組みを具体化するための視点について議論中

【1. 投 資】 イノベーションTF、ビジネス基盤整備TF

【2. 人材・生産性】 ビジネス基盤整備TF、人材TF

【3. インバウンド】 都市魅力・観光TF

【4. 都 市 基 盤】 まちづくり・都市基盤TF

- 「Beyond EXPO 2025」の戦略期間は10年(万博終了後～2035年度)とし、毎年進捗管理を行った上でバージョンアップを図っていく

		タスクフォース	検討テーマ
【人材・生産性】 【投資】 【インバウンド】 【都市基盤】	1	イノベーション	新技術の実装・ビジネス化
	2	ビジネス基盤整備	生産性の向上 大阪経済を支える基盤産業の高付加価値化
	5	人材	多様な労働力の確保 生産性の向上
	3	都市魅力・観光	大阪でしか体験できない魅力や楽しみ方の創出 持続可能な観光都市の実現
	4	まちづくり・都市基盤	成長を支えるまちづくり・インフラ整備の着実な推進

■タスクフォースごとの検討の視点

1. 投資を呼び込む

	検討の視点	令和7年度取組み(例)
イノベーションTF	・新技術・製品の社会実装・産業化の促進 (ライフサイエンス、カーボンニュートラル、空飛ぶクルマ 等) ・スタートアップの創出・成長の促進 (新たな成長分野でのイノベーションの創出 等) ・国内外からの投資の呼び込みの強化 (実装化に向けた支援体制の構築、国際カンファレンス、トップセールス 等)	・中之島クロスの国際拠点化に向けた取組み ・ディープテック・スタートアップ発掘・支援体制の充実強化 ・Global Startup EXPOに合わせた商談機会の創出
ビジネス基盤整備TF	・大阪経済を支える基盤産業の強化 (成長産業を支える企業の集積・高付加価値化、立地の促進、農産品や水産品のブランド化 等) ・世界市場への売り込みの強化 (大阪ブランドの海外展開 等)	・企業立地等の投資促進 ・農産品や水産品のブランド化

2. インバウンド需要を取り込む

	検討の視点	令和7年度取組み(例)
都市魅力・観光TF	・「大阪の魅力」を活かした新たなコンテンツの創出 (新たな魅力の創出、食、歴史、文化芸術、エンタメなど大阪の強みを生かした魅力の磨き上げ、ナイトタイムエコノミー 等) ・おもてなし体制の充実 (オーバーツーリズム未然防止対策、受入れ環境の整備 等) ・ターゲットに刺さる魅力発信	・大阪の文化・芸術等を活かした注目を集めるイベント・コンテンツの実施 ・大阪の観光資源の強みを活かした集客・周遊 ・オーバーツーリズム未然防止対策、受入れ環境の整備

3. 成長を加速する多様な人材の活躍・生産性の向上

	検討の視点	令和7年度取組み(例)
ビジネス基盤整備TF	・企業の経営革新 (生産性向上、事業承継)	・企業経営の高度化支援 ・医療現場でのAI活用への支援
人材TF	・多様な人材の活躍 (女性、高齢者等の就業促進、外国人材の活用、多様な働き方の創出 等) ・人材育成・キャリアアップの強化 (新たなスキルの習得支援、リスキリングの強化 等) ・企業の経営革新、生産性向上	・女性、高齢者、外国人などの働きやすい環境づくり ・リスキリングの促進 ・省力化に取組む企業の支援

4. 成長を支える都市基盤の強化

	検討の視点	令和7年度取組み(例)
まちづくり・都市基盤TF	・成長インフラの整備 (まちづくり、交通、空港 等) ・ベイエリアの活性化 ・東西都市軸(夢洲周辺、大阪城公園周辺 等)の強化 ・地域の拠点機能の強化	・成長を支える広域拠点開発や交通ネットワークの整備 ・官民連携による市街地リノベーションの実施

1. 投資を呼び込む

大阪版万博アクションプランの項目として取組む新技術・製品・サービス

○「未来社会の実験場」である大阪・関西万博では、我が国の叡智を結集した様々な新技術・製品・サービスを披露

ライフサイエンス・ヘルスケア

Nakanoshima Cross

- 「未来医療」の産業化を進める新たな拠点として整備（2024年6月）
- PMDA関西支部やスタートアップ支援機関、「my iPSプロジェクト」の研究開発施設等が集積
- 「再生医療」をはじめ、ゲノム医療やAI、IoTの活用等、今後の医療技術の進歩に即応した最先端の医療技術の創出・実装に向けたプロジェクトが進行中
- 万博期間中に、万博会場と連携した展示等や国際シンポジウムなどの「未来の医療EXPO」を開催予定

Nakanoshima Cross



出典：（一財）未来医療推進機構

大阪ヘルスケアパビリオン

- 府・市において、iPS細胞による心筋シートや、「生きる心臓モデル」などの展示「iPS Cells for the Future」を展覧



「Japan Health」の開催

- 万博期間中に、インテックス大阪で「Japan Health(医療機器・ヘルスケア関連製品の国際見本市)」を開催

「健都万博」の開催

- 万博出展企業等有する革新的な技術・サービスの展示、体験会等を行う「健都万博」を開催

カーボンニュートラル

万博会場内外での実装

- フィルム型ペロブスカイト太陽電池等のCN最先端技術の実証・実装
大阪ヘルスケアパビリオンをはじめ、会場内や府内各地で最先端のカーボンニュートラル技術・製品が実証・実装
- ゼロエネルギーで温度を低下させる「放射冷却素材」の実装
ガスパビリオンの膜屋根や建物屋根の防水シート等に活用。室内の温度低下や空調の省エネに貢献
- 万博会場内の生ごみ等を用いたメタネーション
生ごみを発酵させた際の二酸化炭素や再生可能エネルギー由来の水素等により都市ガス(天然ガス)の主成分のメタンを製造。迎賓館の厨房等で活用

エネルギー拠点形成

- 水素等の次世代エネルギー拠点形成
企業による水素、アンモニア、e-メタンなどの拠点形成に向けた動き

<企業で検討中の内容>

- ①大阪堺・泉北地域におけるアンモニア供給拠点整備
- ②大阪港湾部におけるグリーン水素を活用した国内初の国産e-メタンの大規模製造

<舞洲工場>メタネーション実証設備の外観



ペロブスカイト太陽電池
(万博会場内のバス停の屋根に設置)



画像提供：積水化学工業株式会社

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～1 投資を呼び込む～

大阪版万博アクションプランの項目として取組む新技術・製品・サービス

モビリティ

空飛ぶクルマ

- 官民の協議の場である「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」を設置(2025年2月現在:91社・団体)
- 万博時は、世界最新鋭の実用機体による、万博会場を拠点とした湾岸周辺エリアの飛行や会場外ポートと二地点間運航
- 万博会場内の空飛ぶクルマ専用離着陸場「EXPO Vertiport」のほか、府内2か所において、常設の離着陸場整備が進められている

ANAホールディングス
Joby Aviation



©Joby Aviation

丸紅



©Vertical Aerospace

オリックス



©オリックス株式会社

Soracle



©Archer Aviation Inc.

SkyDrive



©SkyDrive

自動運転/MaaS

- 自動運転EVバスによる万博会場内外の移動を実現
万博会場内の移動のほか、新大阪駅・大阪駅・中之島駅から、舞洲駐車場からの来場で自動運転EVバス(レベル4等の運行、遠隔監視)を体験
- 万博閉幕後に、南河内地域で自動運転バスの実証実験を開始
- KANSAI MaaSで万博会場アクセスが便利に
万博会場～近隣主要駅で運行されるシャトルバスの、KANSAIMaaSのアプリ上で予約・決済サービス開始



画像提供:Osaka Metro



中小企業等の最新技術

リボーンチャレンジ

- 大阪ヘルスケアパビリオンにおいて設けられる「リボーンチャレンジ」では、400社以上の大阪の中小企業・スタートアップが、新技術やプロダクトを週替わりで展示し、その革新的な技術力を世界に向けて発信(2024年10月公表時点:出展数441社)

<ミライの医療・ウェルネス>

例① 骨折リスクの評価

歯科医院で撮影したパノラマX線画像をAIソフトの活用により解析し、歯科医が骨折リスクを評価。骨粗しょう症を早期に発見

例② スマホでできる眼科診療

スマホに取り付けることでいつでもどこでも眼科検査を可能にする医療機器



スマホでできる眼科診療

<脱炭素への取組み>

例③ レーザー核融合発電技術

レーザー核融合発電の仕組みや創出される未来について、わかりやすく解説



レーザー核融合

例④ EVの電池容量・劣化度の測定

わずか30秒でEV(電気自動車)の電池容量・劣化度を測定可能



ワイヤレス給電システム

<ミライの暮らし・生活スタイル>

例⑤ ワイヤレス給電システム

天井に取り付けた送電機から電波で電力を送り、テーブルにある小型ロボットやセンサなどを動かす、空間伝送型「ワイヤレス給電システム」の実演

例⑥ 耐震カプセル

球体形状を活かした災害から身を守る耐震カプセル
カプセル内で、VRを用いた災害シミュレーション体験ができる



耐震カプセル

例⑦ 持続可能な航空燃料

大阪公立大学と共同開発した、ココナッツから作られた植物油由来のSAF(持続可能な航空燃料)を紹介

出典：2025年大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン「リボーンチャレンジ」広報誌 Vol.1を基に作成

- 万博で披露される新技術・製品については、研究開発・実証実験・社会実装など、技術ごとに段階が異なる。また、今後、イノベーションの「芽」となることが期待される新技術を育てることも必要であり、実装化に向けたステージは様々
- また、チャレンジしている企業もスタートアップから大企業と、資金力、人員体制は大きく異なる
- 大阪での実装化に向けたチャレンジができるよう、今後、各ステージごとの企業ニーズに見合った支援の仕組みを検討していくことが必要

【取組みの方向性(イメージ)】

◆「研究開発中の新技術」及び「実証実験・社会実装をめざしている新技術」

【ライフサイエンス】

・中之島クロスにおける再生医療等(iPS細胞を活用した心筋シートなど)の研究、my iPSプロジェクトが進行中

【カーボンニュートラル】

・ペロブスカイト太陽電池は、企業の量産化に向けた取組みが進行中
・水素等次世代エネルギーの供給拠点整備に向けた取組みが進行中

【空飛ぶクルマ】

・世界最新鋭の実用機体が万博で飛行

【自動運転】

・万博会場内外で、自動運転EVバスの運行を予定

【リボーンチャレンジ等で披露される新技術(例)】

・太陽光発電等の再エネ活用と組み合わせた水素製造技術
・AI空調制御システム(天気を予測して外気を省エネに利用)
・高効率なレーザー加工技術

企業の実装化の
取組みを後押し

◆今後、イノベーションの「芽」となることが期待される新技術

持続的な成長に向けて、常に新たなイノベーションの「芽」を育てていく必要

スタートアップ[°]の取組みを支援

新技術の掘り起こし、研究開発を支援

実装化の取組みを後押し

◆実装化・イノベーションを加速させる投資の促進

・海外からの投資、技術、ビジネスモデル誘引に向けた海外企業とのビジネス交流の促進

実証化・実装化に向けた
支援体制・国内外ネットワークの強化

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～1 投資を呼び込む～

【取組み内容(たたき台)】

シーズ発掘

研究開発

実証実験

社会実装

「研究開発中の新技術」
及び「実証実験・社会実装をめざしている新技術」

○研究段階の 取組み

- ・チャレンジする
人材・企業の創出
等

○実装化に向けた取組み

- (資金・技術等ソフト支援)
 - ・国プロジェクトの獲得に向けた支援
 - ・国内外の投資の大阪への呼び込み 等
- (支援機能の強化)
 - ・一気通貫の支援体制の構築
 - ・各ステージに応じた、きめ細かい支援に向けた
コーディネート機能の強化
 - ・大阪・関西の有する支援資源のネットワーク化等
- (環境整備等ハード支援)
 - ・必要なインフラ整備、用地の確保
 - ・チャレンジを促す規制緩和(特区等)
 - ・産業用地の確保 等

○需要創出に向けた取組み

(販路開拓)

- ・海外展開等に向けた
トップセールスの実施 等

(社会受容性の向上)

- ・新技術等の活用を促す普及啓発
- ・公共調達等における率先利用 等

今後、イノベーションの
「芽」となることが期待さ
れる新技術

○研究段階・発掘の取組み

- ・チャレンジする人材・企業の創出
- ・ディープテック分野における
新技術の掘り起こし
- ・大学等における起業家教育の推進

○実装化に向けた取組み

- ・支援機能の強化 等

○需要創出に向けた取組み

- ・販路開拓、社会受容性の向上

今後、タスクフォースにおいて、企業の研究開発、実証・実装化や、スタートアップの支援策について、
具体的な取組み策を検討

○ 国内外からの投資を呼び込むためには、実装化に向けた支援体制と海外とのネットワークの構築を進めていくことが必要

実装化・イノベーションを加速させる投資の促進

実装化に向けた支援体制

- 国・府市・経済界が一体となって、万博で披露される最先端技術の社会実装・産業化を後押しするための支援体制を検討
- 国内外のキーパーソン（大学・研究機関・スタートアップ・投資家等）をつなぎ、研究段階・発掘から実装化までを一気通貫で伴走支援する仕組み・体制を検討

海外とのネットワーク

- 万博において、地球規模の課題解決に向け、海外トップクラスの投資家や、国内外のスタートアップ等、世界中から関係者を呼び、セッション・ピッチイベント等を行う、国際的カンファレンスイベント「Global Startup EXPO 2025 (GSE)」を実施
- スタートアップの役割・重要性、日本・関西の優れたディープテック等のスタートアップを世界中に発信

※GSEの機会を活用し、より多くのビジネス機会の創出のため、万博会場外（うめきた等）にて、商談会等の交流イベント（商談会等）を実施



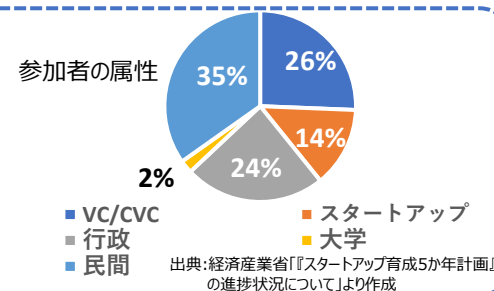
日時	2025 年9月17日(水)-18日(木)
場所	EXPOメッセ (WASSE)
内容	セッション、ピッチ、ブース出展等
主催	経済産業省、JETRO、NEDO

【参考】プレイベント「Startup Horizon 2024」

- ・ 2024年11月に、GSEのプレイベントを大阪市内（グラングリーン大阪「JAM BASE」）にて開催
- ・ 招聘した海外VC26名など、約280名が参加し、海外VCによる講演や、関西の代表的なディープテック・スタートアップのピッチ、地元の大学関係者・大企業、スタートアップとのネットワーキングなどを実施

<内容>

- パネルディスカッション（テーマ例）関西ディープテックの可能性 等
- ピッチイベント（テーマ例）ライフサイエンス、バイオテック等



➡ 社会実装・産業化の後押しや、府内企業の海外企業とのビジネス交流機会の創出に向け、支援体制の構築・海外とのネットワークづくりについてタスクフォースで検討

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～1 投資を呼び込む～

イノベーションTF

- 万博で披露される新技術・製品を社会実装し、産業化を促進するという考え方のもと、
- ・中之島クロスを国際拠点化し、世界的ライフサイエンスクラスターを作り出すための取組
 - ・カーボンニュートラル技術の会場内外での実装やエネルギー拠点形成
 - ・スタートアップの創出・育成の促進
 - ・モビリティを活用した商用運行の早期開始に向けた取組
- 等に関する事業を検討

ビジネス基盤整備TF

- 大阪の経済を支えている基盤産業を高付加価値化するという考え方のもと、
- ・万博時の交流・つながりを活かした、万博後の海外ビジネス展開
 - ・府内企業の投資意欲の高まりを踏まえた、企業立地や府域への再投資の促進
 - ・大阪の商品・サービスのブランド化と世界市場への売り込み強化
- 等に関する事業を検討

■2025年(令和7年)度当初予算案成長関連事業【大阪府】

※令和7年度当初予算案において成長関連事業として計上したものであり、「取組の方向性」を踏まえて分類したもの。TF事業については今後検討 大阪府合計 6,558,410千円

		新規 拡充	事業概要	事業費 (千円)	うち一般財源
ライフサイエンス・ヘルスケア				947,951	834,161
中之島クロス関連事業	新規	スタートアップ支援機関の集積と機能強化に向けた、先駆的な支援メニューの提供や拠点の認知度向上		461,759	397,962
	新規	中之島クロスでライフサイエンス分野をはじめとしたシーズの事業化、チームビルディング等の支援			
	拡充	中之島クロスでの共創によるリーディングプロジェクトの創出支援や万博と連携したイベント「未来の医療EXPO」(国際シンポジウム等)の開催			
	拡充	万博と同年に開催される大型国際見本市「Japan Health(JH)」において、府のポテンシャル等を発信			
	拡充	世界最大級の国際展示会 BIO International Convention 2025(米国)において、府のポテンシャル等を発信			
		府内中小・スタートアップ企業等の国内外ビジネス展開を支援するため、府内で海外企業等との商談会の開催、国際見本市への参加・出展等を実施			
	中之島クロスにおいて再生医療等のビジネス化をめざして、新たな事業展開に乗り出すスタートアップに対して経費の一部を補助				

		新規 拡充	事業概要	事業費 (千円)	うち一般財源
ヘルスケア等関連事業	拡充	万博開催期間に万博出展企業等有する革新的な技術・サービスの展示、体験会等を行い、社会実装・ビジネス化を支援する「健都万博」を実施		486,192	436,199
		万博の機を捉え、次世代スマートヘルス分野のスタートアップ企業が開発した治療・予防アプリ等の社会実装機会の拡大支援等を実施			
		彩都のバイオイキュベーション施設への入居インセンティブを高め、ライフサイエンス分野のスタートアップ等の集積を促進			
	新規	府内の分散型治験環境のネットワークを活用した治験促進			
	新規	【再掲】国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所が実施する新技術を活用した研究事業における連携医療機関拡充にかかる費用を補助			
		「10歳若返り」の実現のため、府民に体験の機会を提供するとともに、情報発信を実施			
		「おおさか健活マイレージアスマイル」を活用した万博機運醸成の取組みを実施			
カーボンニュートラル				2,307,010	177,454
万博会場内外での実装	新規	カーボンニュートラル技術の実装化支援等を行う拠点機能を整備し、チームビルディングの支援やビジネス化サポートを実施		169,314	87,761
		カーボンニュートラル技術開発・実証事業で開発された府内企業等の万博会場での出展や、会場外でのプロモーションによる企業間のマッチングなどを実施			
		府内中小企業と、原材料メーカーやプラスチック利活用企業等とのマッチング支援、府内中小企業のバイオプラスチックの市場展開に必要な経費の一部を補助			
	新規	カーボンニュートラル分野等の産業化に向けた効果的な支援策を展開するため、府内企業の状況や、課題等を調査			
エネルギー拠点形成		国の水素燃料電池(FC)商用車導入拡大をめざす動きにあわせ、府内企業によるFC商用車の導入やFC商用車向けの水素ステーション整備等に必要な経費の一部を補助		50,188	30,859
		府市共同で大阪"みなと"でのカーボンニュートラルポートの実現を効果的に推進するための戦略検討・支援制度立案等を実施			

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～1 投資を呼び込む～

	新規 拡充	事業概要	事業費 (千円)	うち一般財源
CNの実現に向けた行動変容		府内事業者によるCO2削減分をクレジット認証するスキームを運用	2,087,508	58,834
	新規	府有施設等・設備へのモデル導入、イベントなどを通じたSAF(持続可能な航空燃料)などの情報発信		
	拡充	カーボンフットプリント(CFP)が表示される店舗等の拡大・発信、大阪版CFPの算定・表示の支援、事業者によるサプライチェーン全体でのGHG排出量の見える化の促進		
	拡充	「サステナビリティ・リンク・ローン(企業が環境等に関する目標を達成することで、金利が低くなるインセンティブ付きのローン)」と府条例に基づく評価を連動させる制度の構築等		
	新規	災害時等の電源確保が重要な事業者(病院・介護施設・学校等)に対するZEV(ゼロエミッション車)の導入支援		
		CO2排出が少ない商品・サービスを購入した消費者に対して脱炭素ポイントを上乘せ付与し、脱炭素に資する商品・サービスの選択を促進		
		海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、マイクロプラスチックの流出防止対策等の検討・効果検証等を行い、その成果を共有・発信するプラットフォームの運営		
	新規	清掃活動(ごみゼロアクション)の促進		
		中小事業者が届け出た対策計画書に基づいて実施する省エネ設備更新や再エネ設備導入を支援		
		中小事業者の太陽光発電設備(蓄電池、EV・PHV含む)、高効率空調機の導入に対する補助		
	拡充	中小事業者の高効率空調機導入に対する補助		
	新規	ZEV等を活用し地域におけるサステナブルツーリズムの拡充・定着を行う旅行会社等を支援		
		イベントでのリユース容器導入の実証事業、リユース容器導入ガイドラインの作成。マイボトル等の利用可能店舗の情報発信		
	新規	府内の川・海で府民等が参加できるプラスチックごみ回収プログラムを事業		
		大阪湾における藻場の多面的な効果(水質改善、生物多様性、脱炭素等)の把握や情報発信		
		脱炭素社会の実現に向け、住宅・建築物の環境配慮に関する取組を促進		
		地産地消、脱炭素消費行動、プラごみ削減等の一体的な啓発イベントを集客力の高い場所で実施		

		新規 拡充	事業概要	事業費 (千円)	うち一般財源
スタートアップ				1,444,837	237,174
スタートアップの創出・ 育成の促進	拡充		Global Startup Expo (GSE)に合わせて、大阪で開催される世界中のトップSUやVC、実業家をつなぐイベントに 乗じた商談機会を創出	1,444,837	237,174
	新規		企画力、ネットワーク、フィールド等のノウハウを有する支援機関を公募し、社会実装に向けた取組みに補助するととも に、これら機関のさらなる支援力の向上を図る		
	新規		障がい者や高齢者など多様な人材が能力を最大限に発揮し活躍するために、職域拡大や労働環境の改善、労働負荷の 軽減など新たな技術やサービスの開発に取り組もうとする事業者を支援		
	新規		将来事業化が期待される技術シーズの幅広い開拓と、ディープテックスタートアップと大手企業との協業等によるプロ ジェクトの創出		
			創業機運醸成から成長発展支援まで多段階・多面的な支援の取組みにより、スタートアップ・エコシステムの発展に取 組む		
			府内創業支援機関から推薦を受けたビジネスプランのコンテストにおける受賞者に対し、補助金を交付		
モビリティ				784,227	782,921
	空飛ぶクルマ	拡充	大阪でのビジネス化準備のための飛行実証の取組を支援するとともに、万博後における観光分野での商用運航実現 を加速化	613,418	612,112
	自動運転		万博会場を走行する自動運転バスを活用した南河内地域での実証実験	170,809	170,809
スーパーシティ				30,300	30,300
スーパーシティの実現	拡充		夢洲・うめきた2期地区の取組の成果を踏まえ、スーパーシティにふさわしい新たなエリア・企業等からの提案を募り選 定し、大阪府市が公的に関与していく仕組みの確立に向けた検討等を行う	30,300	30,300
国際金融、海外ビジネス				1,044,085	901,694
国内外からの投資の 呼び込みの強化	拡充		国際金融都市の実現に向けた官民連携でのタイムリーな取組の推進	335,448	193,057
	拡充		海外政府機関等向けワンストップ窓口の設置(府市共同設置)及び海外からの賓客等の来阪時に府内企業とのビジネ スイバント等を実施		

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～1 投資を呼び込む～

		新規 拡充	事業概要	事業費 (千円)	うち一般財源
世界市場への売り込みの強化			府の海外拠点である上海事務所の運営、在外公館や経済団体等とのネットワーク構築などを通じて、国際ビジネス交流及び府内企業の海外ビジネス展開を支援	708,637	708,637
			海外ビジネス展開に関する企業相談等を行う国際ビジネスサポートセンター(BSC)の運営や、府内企業の活動をサポートするビジネスサポートデスク(インド、タイ、ベトナム、ミャンマー、インドネシア)の設置・運営		
			大阪産業の高度化及び活性化に向けた企業の立地・投資等に必要な経費の一部を補助		
			大阪土産となる代表商品について、鉄道主要駅隣接の百貨店や空港等での出品を支援		
			万博開催中に来阪する海外ミッション団等に対し、府内中小企業の情報を発信する「万博関連事業受注者登録システム(万博商談もずやんモール)」を運営		
	新規		高付加価値化・国内外の競合との差別化につながる新技術(冷蔵・冷凍技術等)の導入等により、これまで輸出が難しかった農産物の輸出や、輸送距離が長い国への輸出を確立		
			大阪ウィーク等で大阪産(もん)の魅力を発信し、府内飲食店等へ誘引する仕掛けづくりを行うことで、府内周遊及び大阪産(もん)の活用を促進		
	拡充		高付加価値農産物(えだまめ、ぶどう、しゅんぎく)の栽培技術の農業者向け研修会等の実施、高付加価値農産物のPR、農業コンテンツとしての観光農園のインバウンド向け環境整備を実施		
	新規		陸上養殖等における新規参入事業者等への支援を行うとともに、養殖業関係者等がつながる場を構築し養殖ビジネスを拡大		
	新規		海業の展開が期待できる漁港の魅力とポテンシャルの抽出等の調査検討		

■2025年(令和7年)度当初予算案成長関連事業【大阪市】

※令和7年度当初予算案において成長関連事業として計上したものであり、「取組の方向性」を踏まえて分類したもの。TF事業については今後検討

大阪市合計 3,729,998千円

	新規 拡充	事業概要	事業費(千円)	うち一財
カーボンニュートラル(CN)			1,769,613	132,919
万博を契機とした CNの促進		万博を契機とした観光分野における事業者を対象に温室効果ガス排出量の可視化・脱炭素化の支援を実施	41,477	41,477
		AR(拡張現実)技術等を活用した体験型環境学習の実施		
CNの実現に 向けた取組		脱炭素化先行地域(御堂筋)において都市モデルを形成	1,728,136	91,442
	拡充	「大阪港・堺泉北港・阪南港港湾脱炭素化推進計画」に基づき、大阪“みなと”でのCO ₂ 排出量削減に向けた脱炭素化の取組を実施		
	新規	EV等の普及促進に向けて、プライベート充電環境を充実させるために、集合住宅における普通充電設備の設置費用の一部を助成		
	新規	開発レベルには達しているものの事業化に至っていない新たな脱炭素技術の実証を支援		
		カーボンニュートラルの実現に向けた資源・エネルギー循環拠点の形成など、中浜西下水処理場の再構築に関する概略・基本設計を実施		
	新規	次世代太陽電池の普及促進を実施		
スタートアップ			495,766	192,371
スタートアップの創出・ 育成の促進	新規	万博を契機に、国内外のスタートアップと投資家等のマッチングや他のイベントとの連携など、新たなイベント開催により交流・成長の機会を創出	495,766	192,371
	新規	大阪イノベーションハブ(OIH)の面積拡充・リニューアルや支援体制・メニューの充実を図り、スタートアップ支援を強化		
		カーボンニュートラル等の新技術を活用したビジネスの社会実装を支援		
		スタートアップの創出・成長に向け、オープンイノベーション促進等に取り組むとともに、プロジェクト創出・ビジネス化支援や事業成長の加速を促進		
		京都・大阪・神戸のコンソーシアムと連携し、関西の強みを活かしたエコシステムの形成により、スタートアップの成長を加速化		

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～1 投資を呼び込む～

	新規 拡充	事業概要	事業費(千円)	うち一財
モビリティ			451,103	251,103
空飛ぶクルマ	拡充	「空飛ぶクルマ」の2地点間運航の実現や商用運航拡大に向け、実証実験等の補助事業や社会受容性向上に資する取組等を実施	248,103	248,103
自動運転		大阪・関西万博開催時における来場者輸送を担う自動運転バスの運行や社会実装に向けたデータ収集等を実施	203,000	3,000
スーパーシティ			65,795	34,857
スーパーシティ構想の推進		大阪府と共同で新たな先端的サービスや規制改革提案の創出をめざす仕組みの確立に向けた検討を実施	65,795	34,857
国際金融、海外ビジネス			947,721	930,974
国内外からの投資の 呼び込みの強化	拡充	金融系外国企業等の誘致に向けて、地方税軽減制度や拠点設立補助、金融・資産運用特区の取組万博期間中のプロモーション等を実施	947,721	930,974
		万博を契機として大阪の中小企業の世界市場への挑戦を支援するため、中小企業の魅力発信と販路開拓の場を提供		
		海外企業等のニーズにあった在阪企業とのビジネス交流の創出支援など、大阪府・支援機関と構成するワンストップ相談窓口を設置・運営		
	新規	デジタル、新エネルギーなどの成長産業分野の大阪への大規模投資を促進するため、市内拠点の新増設等に要する経費の一部を助成		
		市内に本社機能を有する事業所等を新たに設置する事業者に対して賃料の一部を助成		

2. インバウンド需要を取り込む

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～2 インバウンド需要を取り込む～

○大阪は、南北に大阪国際空港、関西国際空港といった空の玄関口があり、多くの外国人旅行者が大阪を訪問。**大阪は東京に次ぐ外国人旅行者の訪問先**。世界遺産である百舌鳥・古市古墳群からUSJ、道頓堀など**文化・歴史、食、エンタメなどの多くの観光客を魅了するコンテンツが存在**

○しかしながら、外国人旅行者の動向について**東京(羽田・成田空港の訪都外国人旅行者)と大阪(関西空港の来阪外国人旅行者)と比較した場合、滞在日数やリピート率、消費額には差があり、さらなる取組みが必要**

外国人旅行者の滞在日数

- ・日本での平均滞在日数は約4～13日
- ・東京の平均滞在日数は平均約5日であるが、大阪は3～4日に留まる

➡ 欧米豪や東南アジアからの訪日客は、大阪でのプラスワントリップが課題

＜国別の平均宿泊数＞ (単位：日)

国籍・地域	日本	大阪
欧州	13.3	3.2
豪州等	12.4	3.6
北米	9.9	3.7
東南アジア	7.1	3.8
フィリピン	6.9	4.8
香港	6.8	3.9
中国	6.5	3.6
台湾	5.5	4.8
韓国	4.2	3.4

【参考】東京都の平均宿泊数は5.2日
(「4～6泊」が約41%、「3泊」が約20%、「7～13泊」が約18%等)
出典：日本・大阪：大阪観光局「訪日外国人旅行者の動向把握のための関西空港出口調査2024年度12月版」、
東京：東京都「令和5年 国・地域別外国人旅行者行動特性調査報告書」より作成

外国人旅行者のリピート率

- ・日本・東京との比較において、大阪は1回目、2回目の訪問者の割合が多い
- ・アジアのリピート率が高い

➡ 欧米豪や東南アジアからの訪日客のリピート率を上げていくことが課題

＜リピート率＞

	1回	2回	3・4回	5回以上
大阪	55%	23%	13%	9%
日本	41%	19%	16%	23%
東京	46%	21%	3回：10%、4回以上：24%	

＜大阪への国別リピート率＞

韓国	40%	東南アジア	44%
台湾	68%	豪州等	27%
香港	69%	欧州	26%
中国	47%	北米	38%
フィリピン	37%		

出典：日本・大阪：大阪観光局「訪日外国人旅行者の動向把握のための関西空港出口調査2023年度」、
東京：東京都「令和5年 国・地域別外国人旅行者行動特性調査報告書」より作成

インバウンド消費の内容

- ・東京都との比較において、宿泊費を除くと、**娯楽等サービス、買物代、飲食費**において差がある

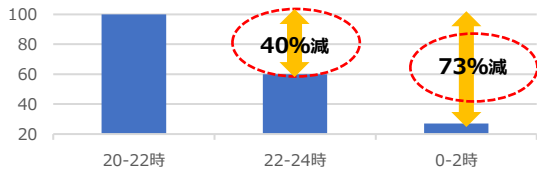
➡ 24時間大阪を楽しめる魅力づくりが課題

＜消費の内訳＞ ※2023年4～12月期（【観光・レジャー目的】）(単位：万円/人)

	消費単価	娯楽等サービス費	買物代	飲食費	宿泊費	団体等参加費	交通費	その他
大阪	9.0	0.6	3.1	1.9	2.5	0.6	0.2	0.0
東京	14.4	0.4	4.6	3.0	5.1	0.8	0.4	0.0

出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」

＜訪日外国人の夜間活動状況＞ ※20-22時の活動量を100とする



出典：大阪観光局『Osaka Night Out』実証実験効果検証資料（2018）

- 2024年の外国人旅行者は全国は3,687万人(消費額:約8兆円)、大阪は1,464万人(大阪観光局発表(推計値))と過去最高の見通し
- 観光産業は、宿泊費や買物代など直接的な経済効果に留まらず、情報関連、輸送など様々な産業への波及効果のある、すそ野の広い産業
(参考)世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)の試算では、2019年の日本のGDP(約557兆円)に対する旅行観光分野の貢献は約44兆円と試算
- 今後とも増加するインバウンド需要の大阪への取り込みや、旅行者の消費額を増加させるためには、新しい「大阪の魅力」づくりを常に進めていくことが必要

【取組みの方向性(イメージ)】

◆「大阪の魅力」を活かした新たなコンテンツの創出

- まちづくりと連動した魅力づくり
 - ・夢洲(IR等)や万博記念公園(アリーナ等)等
- 万博に向けて充実・強化してきたコンテンツ(イベント等)の継続
 - ・万博イヤーに向けたコンテンツ(文化・芸術の活性化等)の継続、MICE誘致の強化等
- 大阪の新たな魅力づくり
 - ・クルージング、舟運のエンタメ化等
- ナイトタイムエコノミーの充実
 - ・大阪・光の饗宴等のナイトイベント等への集客の取組み
- 府域周遊
 - ・大阪市内から府域全域への周遊のための取組み

◆おもてなし体制の充実

- オーバーツーリズム未然防止対策や安全安心、快適な旅行の環境整備が必要
 - ・混雑回避対策(移動手段の確保、手ぶら観光等)
 - ・受入れ環境の整備(トイレ・ごみ問題、通信環境等)

◆ターゲットに刺さる魅力発信

- ターゲット(国・年齢層)別に刺さる効果的な発信方法を検討

新たな旅行者の獲得
(滞在日数・リピート率等)

消費単価のアップ

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 2 インバウンド需要を取り込む ～

「万博」及び「万博後」に向けた新たな魅力づくり(主なもの)

新たな観光エリアの魅力づくり

IRの実現

世界最高水準の成長型 I R を核とした国際観光拠点の形成

2030年秋頃 開業 (想定)



万博記念公園駅前周辺地区の活性化

大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点づくり

2030年第1期 (アリーナ) 開業予定



受入環境の整備、おもてなしの体制の充実

旅行者の利便性向上

スーツケース等輸送サービス利用促進、「観光デジタルマップ」の構築

受入れ環境の整備

公共交通機関のキャッシュレス決済の拡充、Wi-Fi環境の整備等の実施



大阪の魅力発信、新たな観光コンテンツの創出

夜間コンテンツの充実 (ナイトタイムエコノミー)

大阪・光の饗宴等、夜間の集客力を高めるコンテンツの創出



にぎわいの創出

ウォータースhower、プロジェクションマッピングや「中之島GATEサウスピア」の整備、御堂筋オータムパーティなど大阪の魅力発信、大阪来てな！キャンペーンによる誘客促進等



文化芸術の活性化

「大阪国際文化芸術プロジェクト」により、大阪の多様な文化芸術を楽しめるプログラムを展開



注目を集めるイベントコンテンツ

「ガストロノミーツーリズム」、「国際的な食のイベント」等の「食」のコンテンツ創出
国際的なスポーツイベント「X GAMES」の開催や「スポーツツーリズム」の推進、「eスポーツ」イベントの開催

➡ 上記取組みに加えて、「旅行者に選ばれる街・大阪」「何度も訪れたくなる大阪」「24時間楽しめる大阪」の実現に向け、タスクフォースにおいて、具体的な取組み策を検討

都市魅力・観光TF

○府域全域の観光拠点化やおもてなし対応の充実を図るという考え方のもと、

- ・新たな魅力の創出、食、歴史、文化芸術、エンタメなど大阪の強みを生かした魅力の磨き上げ、ナイトタイムエコノミー
- ・オーバーツーリズム未然防止対策、受入れ環境の整備 等に関する事業を実施

■2025年(令和7年)度当初予算案成長関連事業【大阪府】

※令和7年度当初予算案において成長関連事業として計上したものであり、「取組の方向性」を踏まえて分類したもの。TF事業については今後検討 大阪府合計 5,430,524千円

		新規 拡充	事業概要	事業費 (千円)	うち一般財源
誘客強化				2,960,327	2,685,475
注目を集める イベント・コンテンツ	新規		万博と連動した産学官によるeスポーツイベントのプロモーション。府主催の総括イベントの実施	2,318,420	2,135,367
	新規		アクションスポーツの国際競技大会「X GAMES」の実施		
	新規		多様で質の高い大阪の食を活用した、国内外へ魅力を発信や、食の体験機会の創出		
	新規		水の回廊を周回する航路の創出を目的とした社会実験や調査検討の実施		
	新規		万博の機会を最大限に生かし、主に万博開催期間中にスペシャルプログラムを実施		
			大阪・関西万博の機運醸成と来場者促進を図るため、ヨットパレード及びクラシックカーイベントの開催		
			非日常的なオンラインワンコンテンツを実施し、話題性を高め大阪の魅力を国内外へ広く発信するプロモーションイベントの実施		
			大阪と神戸を結ぶ航路の創出や定着につながるよう旅行商品の企画・造成等を支援。クルーズを体験していただけるようプロモーションの実施		
			世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」について、資産の保存・活用や、資産の価値と魅力を発信する取組を実施		
			御堂筋オータムパーティーの実施		
	新規		大阪が有する多様なスポーツ資源を活かし、大規模スポーツイベント「スポーツを楽しむ3Days(仮)」を開催		
			府が所蔵する美術作品(大阪府20世紀美術コレクション)等を活用したアートの魅力発信		

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 2 インバウンド需要を取り込む ～

		新規 拡充	事業概要	事業費 (千円)	うち一般財源
注目を集める イベント・コンテンツ	拡充		府所蔵美術作品を府内各地に展示し、観光資源としての活用を促進	2,318,420	2,135,367
			全国で唯一の演芸資料館である上方演芸資料館の管理運営		
			上方伝統芸能や音楽、アートなど様々な文化芸術プログラムの実施		
			万博を見据え、市町村等と連携し、府内各地の文化財等の文化資源を活用した公演等を中心とした複合的な文化芸術プログラムの実施		
			さきしまコスモタワーの外壁に「光」でアートを表現		
			大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型IRの実現に向けた、公民連携による取組の推進		
	新規		登録有形文化財「大阪府庁本館」の魅力を高め、活用推進を図るとともに、大阪城周辺エリアの更なる観光客集客につなげるため、ライトアップを実施		
ナイトタイムエコノミー			大阪・光の饗宴(御堂筋イルミネーション事業)やナイトカルチャー発掘・創出事業の実施	641,907	550,108
			新たな観光スポットとなるウォーターショーなどの水と光を活かした魅力的なコンテンツを実施		
ターゲットにあわせた情報発信				48,193	48,193
情報発信			府、大阪市、堺市、観光関連事業者、JR6社等と協力し、大阪ディスディネーションキャンペーンの推進	48,193	48,193
			大阪の再生・成長につなげるため、万博、ビジネスに関する情報や都市のプレゼンスを高める情報を統一かつ効果的に発信		
	拡充		観光コンテンツとしてポテンシャルを有する景観資源について、府内外に向けた魅力発信を展開		
周遊の促進				848,596	848,596
周遊の促進	新規		大阪観光局のサイトで市町村の観光コンテンツを発信するとともに、AIを活用したサイトの構築や旅行者の行動嗜好に合致した情報発信を実施	848,596	848,596
	新規		市町村によるデータマーケティングを支援するため、大阪観光局と連携し基盤整備を進めるとともに、市町村職員への技術的支援を実施		
			関西一丸(2府8県4政令市及び民間企業)となった、「旅行商品・コンテンツ造成」～「プロモーション」～「販売」、情報提供基盤整備の一体的取組		
	新規		気軽に府域を周遊できるよう、バス・タクシーなどを活用した周遊ツアーのモデル事業を実施。民主導の周遊ツアーの展開につながるようスキームや支援手法等を検討		
			万博のインパクトを活用し、大阪市内及び北摂・河内・泉州の観光スポットで、歴史文化・食など大阪の魅力を体験できるイベントや府内を巡ることができる仕掛けを展開。万博会場で実施される大阪の魅力発信イベント		
			府内各地の大阪の文化やものづくり、食などが体験できる観光コンテンツの情報発信		
			万博を契機に、インバウンド需要等が見込まれる金剛山・ちはや園地を核とした集客力強化・地域振興を行うための必要な整備を実施		
			大阪市内のオーバーツーリズム対策、府内周遊観光の優良ツールとなり得る新たな観光資源として、府域の自然公園施設の魅力や利便性の向上、安全性の確保に資する事業を実施		
	新規		地域農業コンテンツ向けガイドの育成や、農業コンテンツ周知のための旅行社等向けの農業コンテンツを知る場の提供(ファムトリップ)、広報の実施		

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 2 インバウンド需要を取り込む ～

43

		新規 拡充	事業概要	事業費 (千円)	うち一般財源
上質な体験の提供、既存コンテンツの高付加価値化、MICE誘致、国際交流				194,621	194,621
上質な体験の提供	新規	新規	大阪ならではのガストロノミーツーリズムの商品化の促進	102,179	102,179
			ラグジュアリーツーリズムを扱う海外旅行会社が加盟するコンソーシアムが主催する富裕層向けの旅行商談イベントを誘致		
既存コンテンツの高付加価値化	新規	新規	国際クルーズ客船の誘致促進に向け、国際クルーズ船社等へのプロモーションや寄港に必要な受入環境の整備	33,183	33,183
			堂島川等の護岸ライトアップ施設の大規模リニューアルに向け、全体のコンセプトや整備手法等の調査検討		
MICE誘致	新規	新規	MICE誘致を積極的に進めるためMICEの開催に要する経費を支援(R8～R14)。R7は事業周知に向けた広報活動を実施	18,500	18,500
			大阪・関西万博のインパクトを活かし、MICE誘致を積極的に進めるため、MICE開催に必要な経費を支援		
国際交流	拡充	拡充	国際交流を通じて、若者の国際感覚の醸成し交流の裾野を広げ、友好交流先等との連携強化を促進	40,759	40,759
受入環境の整備、おもてなし体制の充実				1,378,787	1,363,787
オーバーツーリズム未然対策	新規	新規	府内のトイレ、大型荷物の保管所等の位置や情報が分かる観光デジタルマップの構築・運営	59,298	59,298
			大阪観光局の運営サイトに特設ページを開設。スーツケース等の輸送サービスの認知度向上・利用促進を促進		
受入環境の充実	新規	拡充	国際的なWi-Fi相互接続基盤(Open Roaming)に対応したスポットの拡大に向けた、観光地での対応(切り替え・新規整備)を支援	1,319,489	1,304,489
			市町村及び公的な団体が実施する、旅行者の受入環境整備(トイレ改修、観光案内板整備等)、観光パンフレットの作成等に係る補助		
			外国人相談対応に必要な知識や能力を習得する研修や相談内容のデータベースを構築		
			海外旅行保険に未加入の外国人旅行者に対し、来阪前(大阪観光局のSNS等)及び来阪時(主要駅デジタルサイネージ等)に効果的な海外旅行保険の加入を勧奨		
			外国人観光客に安心して旅行していただくため、けがや病気が重篤化する前に受診できる多言語対応可能な医療機関を拡充し、外国人患者受入体制を整備		
			観光客の安心安全の向上とともに救急医療のひっ迫抑制につなげるため、観光客が利用する宿泊施設等において、観光客が府内旅行中に急病になった場合の相談窓口に係る周知啓発		
			感染症全般の予防啓発や感染時の受診サポートについて記載した多言語化パンフレットを作成・配布することで、安全安心な大阪をPRし、外国人をはじめとする観光客の受入環境を整備		
			外国人観光客向けにたばこのルールの周知		
			宿泊施設のサービス、衛生管理向上及びガスハラ対策のための講習会の開催。訪日外国人等観光客の宿泊等マナー向上のための動画・コンテンツ作成及びマナー啓発を実施		
			多くの府民をはじめ、不特定多数の人が集まる駅前広場等における暑熱環境の改善		
			UDタクシー導入の加速化を図るため、事業者によるUDタクシーの導入に係る費用補助		
			新規 国内外の旅行者について、公共交通機関における受入環境の整備を進めるため、事業者への補助		
			新規 箕面公園のさらなる観光客の誘致に向け、受入環境整備の実施		
			新規 既存ホテルのバリアフリー改修工事への補助等		
			万博で採用された最先端のバリアフリー基準の条例ガイドラインへの反映を通じた、府域全体の建築物のバリアフリー化の促進		
			新規 堺旧港において、仮説浮桟橋設置等の環境整備を行い、堺～夢洲を繋ぐ海上交通を実施		

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 2 インバウンド需要を取り込む ～

■2025年(令和7年)度当初予算案成長関連事業【大阪市】

※令和7年度当初予算案において成長関連事業として計上したものであり、「取組の方向性」を踏まえて分類したもの。TF事業については今後検討

大阪市合計 3,788,846千円

		新規 拡充	事業概要	事業費(千円)	うち一財
誘客強化				1,427,020	1,231,329
注目を集める イベント・コンテンツ			国内外から来阪される多くの方に大阪の文化芸術を楽しんでいただくため、「大阪国際文化芸術プロジェクト」を実施	1,040,963	992,963
	新規		国内外に大阪の都市魅力を発信し、都市格やブランド力の向上を図るため、音楽等による大規模な集客イベントを実施		
	新規		アクションスポーツの競技大会「X Games Osaka 2025」を開催し、トップアスリートのパフォーマンスを「みる」機会等を創出		
			大阪の魅力である「食」を楽しんでいただき、都市魅力の発信及び大阪へのリピーター獲得に向け、「大阪グルメEXPO2025」を実施		
	新規		万博の来場促進を図るため、休憩エリアを活用した万博PRエリアの設置や、万博と動物園のつながりを紐解く企画展等を実施		
			大阪のメインストリートである御堂筋を歩行者に開放し、にぎわいを創出する「御堂筋オータムパーティー」を開催		
			ワールドマスターズゲームズ2027関西 閉会式の開催準備		
			IRを含めた国際観光拠点の形成に向けた立地推進(IR事業化推進事業)		
ナイトタイムエコノミー			市内中心部への誘客を促進し、大阪の都市魅力を世界へ発信するため、万博期間中に「大阪・光の饗宴」特別点灯を実施	386,057	238,366
			大阪・光の饗宴(御堂筋イルミネーション・OSAKA光のルネサンス)を実施		
			万博来場者の記憶に残る夜間景観を創出するため、「水と光の東西軸」上にあるベイエリアの橋梁のライトアップを実施		
			船上から楽しめる水と光を活かした演出として、ウォーターショーやプロジェクションマッピング等による「OSAKA リバーファンタジー」を実施		
			市立美術館と大阪中之島美術館((地独)大阪市博物館機構所管)において、大規模な展覧会で週末を中心として開館時間を延長		

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 2 インバウンド需要を取り込む ～

45

新規 拡充		事業概要	事業費(千円)	うち一財
ターゲットにあわせた情報発信			15,086	15,086
情報発信		万博の機運醸成及び観光誘客促進を図るため、JR6社と連携した全国規模の観光キャンペーンに取り組む	15,086	15,086
周遊の促進			355,000	355,000
周遊の促進		大阪が持つ多彩な観光資源の魅力を国内外に発信し、大阪への誘客及び域内での周遊を促進	355,000	355,000
		関西一丸(2府8県4政令市及び民間企業)となった、「旅行商品・コンテンツ造成」～「プロモーション」～「販売」、情報提供基盤整備の一体的取組		
MICE誘致、国際交流			54,119	54,119
MICE誘致	新規	大阪で開催される国際会議の誘致・開催を促進するための新たな助成制度について、令和8年度以降の開始に向けた取組を実施	18,500	18,500
		万博を契機として、MICEを積極的に誘致・創出するため、国際会議の誘致及び開催に要する経費の一部を助成		
国際交流	新規	日本文化をテーマとした国際交流イベント「ジャパンウィーク」に参加し、大阪の都市魅力発信や万博のPR等を実施	35,619	35,619
受入環境の整備、おもてなし体制の充実			1,937,621	1,848,533
受入環境の充実		国内外の要人や来場者の安全性の向上を図るため、警護に支障となる街路樹の剪定や除草等を実施	1,937,621	1,848,533
		万博を契機に国内外から多数の観光客が訪れる繁華街において、客引き等迷惑行為に対して警戒・注意等を行うパトロールスタッフを配置		
		国際観光都市にふさわしい環境美化を推進することを目的に、「大阪市路上喫煙の防止に関する条例」の啓発指導体制の強化、啓発表示、情報発信等を実施		
		誰もが安全・安心で快適に移動できるよう、ユニバーサルデザイン(UD)タクシーを導入する事業者に対して補助		
		御堂筋で、みちの未来を体験してもらえるような新たな取組等を踏まえ、人中心の道路空間の実現に向けた実証事業や調査・検討等を実施		
	新規	大阪駅前ダイヤモンド地区における人中心の道路空間の実現に向けた検討調査を実施		
	拡充	高質な公共空間の維持管理等を促進するため、エリアマネジメントの活動を支援		

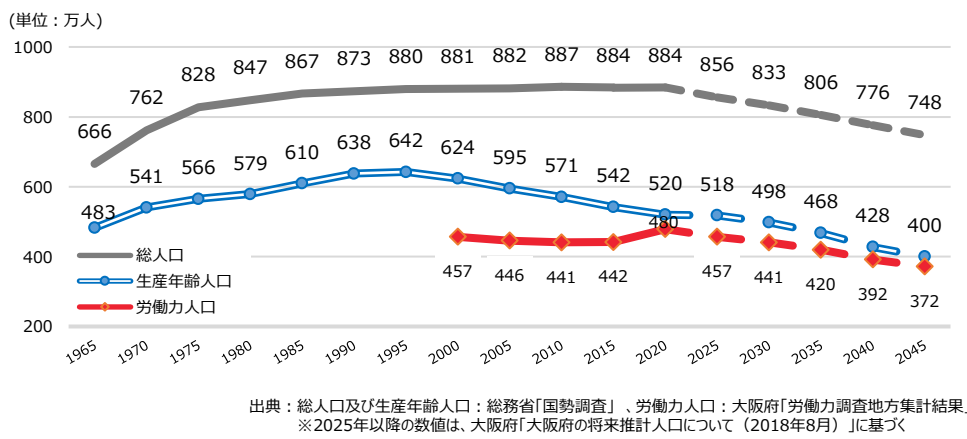
3. 成長を加速する多様な人材の活躍、 生産性の向上

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 3 多様な人材の活躍、生産性の向上～ 47

- 大阪の生産年齢人口は、少子高齢化の進行により、1995年の642万人をピークに減少。2045年には400万人まで落ち込む。将来の労働需給のシミュレーションによれば、今後、労働供給そのものが不足する「労働供給制約社会」が到来
- 職種ごとの有効求人倍率にバラつきがあり、企業が求める職種と求職者の意向にミスマッチが生じている

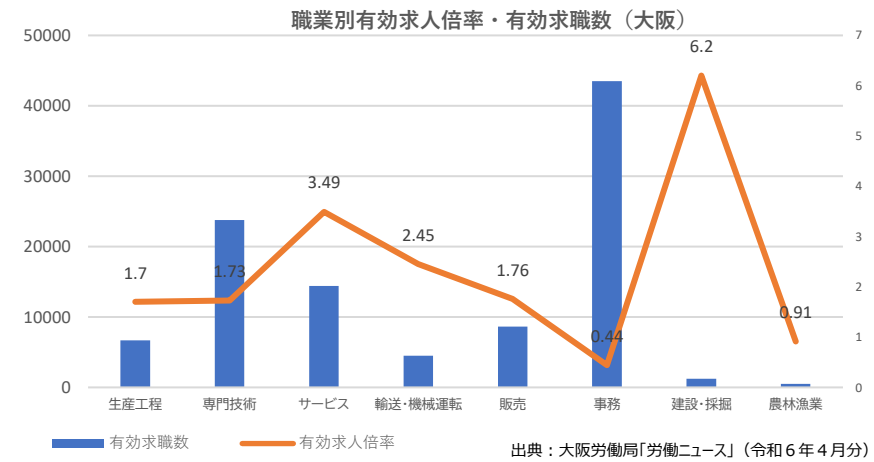
労働力人口数の推移

◆ 生産年齢人口・労働力人口の推移



労働需給の状況

◆ 有効求人倍率・有効求職数（職種別）



- ◇ 労働力人口の減少や就業構造が変化する中で、大阪の成長・発展を支える人材を確保するには、大阪が「人を惹きつけるまち」となることが前提
 - 副首都ビジョンを基に、「チャレンジの後押し」「暮らしやすさ・働きやすさ・楽しさの向上」「都市機能の強化」に取り組み、大阪が「変革を先取り 魅力にあふれ ワクワクする都市」にしてい
- ◇ また、副首都ビジョンにおいては、「暮らしやすさ・働きやすさ・楽しさの向上」に向けて、「女性をはじめ、誰もが活躍できる環境づくり『働きやすさ+働きがい』」「チャレンジ、トライ&エラー制度 人材育成環境の構築」「人材マッチングシステム 成長分野へ人材流動」に取り組むとしており、「人材の活躍、生産性の向上」という視点から具体的な取り組み策を検討

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～3 多様な人材の活躍、生産性の向上～

- 人口減少に伴い、近い将来、労働供給制約社会が到来。2040年に1,100万人の労働力が不足すると予測
- 企業が求める職種と求職者の意向にミスマッチが生じている
- 日本は、働き手の勤続や転職意向、エンゲージメント等が低く、労働生産性はOECDの中でもかなり低い水準
- IoT、ビッグデータ、AI(人工知能)、ロボット等の技術革新はめざましく、これらの技術を最大限に活用する必要
- 世界から多くの人材が集積することをめざすとともに、労働生産性を世界に伍するレベルに引き上げる必要

【取組みの方向性(イメージ)】

◆労働力を増やす

- ・ 生産年齢人口が減少する中、少しでも多くの労働力を確保する必要
- ・ 人への投資に力を入れ、多様な人材が働きやすい環境づくりや、今後、より一層の増加が見込まれる外国人材獲得に向けた取組みが必要

新たな労働力の確保

◆一人ひとりのスキルを上げる

- ・ AI等の技術が進化する中、人が対応する仕事は「新たな価値を創造する仕事」や「AIとともに働く仕事」等にシフト
- ・ テクノロジー活用能力やコミュニケーション能力等、新たな時代に不可欠なスキルを一人ひとりが身につける必要

人材育成・キャリアアップ

◆企業の経営革新

- ・ 生産年齢人口が減少する中、機械化・自動化やDX化により、労働市場の状況に見合った事業継続を行う必要
- ・ また、経営規模の拡大等により、企業が生産性を向上する必要

生産性の向上

新たな労働力の確保

人材育成・
キャリアアップ

企業の経営革新
(生産性の向上)

【現状】

- 女性
 - ・年代別の有業率は、全体的に男性よりも約2割低い
- 高齢者
 - ・65歳以上の有業率は、男性3割強、女性2割弱に留まる
- 障がい者
 - ・法定雇用率達成率は、大阪が全国を下回る
- 外国人労働者
 - ・増加する一方で、日本での就職を希望しながら就職できない外国人留学生も多数存在

- 企業と求職者間のミスマッチ
 - ・事務や専門技術などの職種で、求職者が多く、事務職の有効求人倍率は0.44倍

- 中小企業のDX取組状況
 - ・大阪の中小企業では、DX化を通じた業務効率化やビジネスモデルの変革の取組みは広がっていない

【取組み内容(たたき台)】

- 多様な働き方や人的資本経営を推進
 - ・多様な働き方・職場環境づくり(短時間勤務、非正規・再雇用の活用、ワークライフバランスの推進など)
 - ・副業・兼業人材の活用
 - ・ジョブ型雇用への移行支援 等
- 外国人労働者の積極的な受け入れ
 - ・特定の国や地域と連携した海外人材の獲得
 - ・外国人留学生等の受入れ環境の整備 等

- キャリア形成への支援
 - ・産学官が連携したリスキリングやマッチングの強化
 - ・技専校等を活用したキャリアアップ支援 等

- DX、機械化、自動化の推進(省力化・効率化)
 - ・仕事の自動化・省力化の促進
- 経営規模や事業規模の拡大 等



今後、成長を加速する多様な人材の活躍・生産性の向上の実現に向け、タスクフォースにおいて具体的な取組み策を検討

II 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 3 多様な人材の活躍、生産性の向上～

人材TF

○人口減少に伴う労働力人口の減少に対し、女性・高齢者・障がい者・外国人など多様な人材の活躍を促進するとともに、生産性を向上するという考え方のもと、

- ・多様な働き方や働きやすい環境づくり、外国人材受入れなど労働力の確保に向けた取組
 - ・人材の育成・キャリアアップの取組
- 等に関する事業を実施

ビジネス基盤整備TF

○大阪の経済を支えている基盤産業の生産性を向上させるという考え方のもと、

- ・中小企業に対するデジタル技術の導入やDXの推進、技術の高度化
 - ・製品デザインや商材の訴求力・発信力など、付加価値向上
 - ・事業規模や経営規模の拡大
- 等に関する事業を実施

■2025年(令和7年)度当初予算案成長関連事業【大阪府】

※令和7年度当初予算案において成長関連事業として計上したものであり、「取組の方向性」を踏まえて分類したもの。TF事業については今後検討

大阪府合計 7,876,802千円

		新規 拡充	事業概要	事業費 (千円)	うち一般財源
人材確保、育成				2,151,723	749,083
新たな労働力の確保	新規	AI活用のカounselingツールを利用したマッチングをはじめ、デジタルを活用して潜在求職者の支援策を強化		1,676,367	289,479
		中小企業が専門的知識を有する副業・兼業人材を初めて活用する際に必要な費用(人材会社への紹介手数料、副業・兼業人材に支払う報酬)の一部を補助			
		製造・建設・運輸・インバウンド関連の業務内容やそこで働く若手や女性従業員のインタビューや働きぶりをSNS等で周知			
		職域拡大や労働環境の改善など、雇用促進に資する新技術・サービスの開発に取り組もうとする事業者を支援			
		府内大学との連携を通じ、学生と府内中堅・中小企業との直接的なマッチングを推進			
		奨学金の返還支援制度を導入した企業に支援金を交付			
		府内企業の外国人採用支援および外国人留学生とのマッチング支援、海外人材への現地でのアプローチ、インターンシップの受入れ支援などを実施し、大阪における外国人材受入を促進			

		新規 拡充	事業概要	事業費 (千円)	うち一般財源
新たな労働力の確保	拡充		西成区の現状を踏まえ、新労働施設の機能に日雇労働者支援に加え、外国人材受入れ支援機能等の付加について調査検討	1,676,367	289,479
	新規		【再掲】障がい者や高齢者など多様な人材が能力を最大限に発揮し活躍するために、職域拡大や労働環境の改善、労働負担の軽減など新たな技術やサービスの開発に取り組もうとする事業者を支援		
			【再掲】海外ビジネス展開に関する企業相談等を行う国際ビジネスサポートセンター(BSC)の運営や、府内企業の活動をサポートするビジネスサポートデスク(インド、タイ、バトナム、ミャンマー、インドネシア)の設置・運営		
			外国人労働者の方が安心して働き続けられるよう、24時間対応可能な労働相談体制を継続するため、チャットボットや多言語対応ホームページを運用		
			宿泊施設において実施する来阪旅行者のための環境整備事業に係る経費を補助		
人材育成・キャリアアップ の強化	新規		国の教育訓練給付金の支給対象外となっている、離職後1年を超える方や在職しているが雇用保険加入期間が1年未満の方などが、資格取得などを目的とする指定の講座を受講した場合に補助を実施	475,356	459,604
	新規		中小企業等が行う従業員のスキルアップを支援するため、国の人材育成支援助成金の対象外となっている研修を受講させる場合に、受講費用を補助		
	新規		人手不足の深刻化や企業の採用活動の変化に対応した在職者の技術・技能のアップデート、企業の人材育成ニーズなどを把握するための調査・検討		
	新規		海外留学での交流を通して、若者の視野を広げ、国際感覚や自立心・向上心を磨くとともに、大阪の魅力をSNS等により、英語やその他の言語で世界に発信できる積極性を培う		
			ものづくり中小企業の技術革新と競争力強化を図るため、新たな技術開発に係るプロジェクトの認定・助成を実施		
企業の経営革新(生産性向上)			令和6年度から「にであう」HP内に設置したリスティング相談デスクの機能を強化(チャットボットの多言語化、企業向け啓発セミナーの拡充、在職者向けの研修プログラムの実施等)	5,725,079	5,554,212
企業の経営革新	拡充		生産性向上に向けた省力化等に取り組む府内中小企業に対し、専門家や支援機関による伴走支援及び補助金交付を実施。人材確保に取り組む府内中小企業に対するコンサルティングを実施し、女性や高齢者等潜在的な求職ニーズの高い多様な人材の活用を促進	5,725,079	5,554,212
	新規		セミナー・交流イベント等の開催、マッチング案件のフォローアップ、ホームページ等での情報発信等により、ものづくり中小企業とスタートアップの協業を促進		
	新規		国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所が実施する新技術を活用した研究事業における連携医療機関拡充にかかる費用を補助		
			大阪産業局において、中小企業のDX推進に向け、各企業の課題に応じた講座・セミナー、個別相談、伴走支援を実施		
			大阪産業局において、デザインの観点から、中小企業の商品・サービス開発や経営の高度化等について支援		
			ものづくりビジネスセンター大阪(MOBIO)を中心に、大阪のものづくり力の国内外への発信や、販路開拓・技術開発、産学連携マッチング、B2Bネットワーク構築、知的財産活用、下請取引適正化などの総合的な支援を実施		
			万博を機に増加する国内外からの来阪者等に大阪が誇るものづくりの魅力を発信するため、工場等視察の機会や万博会場内外での展示機会を提供		
			産業技術に関する試験、研究、相談その他の支援を行う大阪産業技術研究所に対し、必要な経費を交付		
			「大阪広域データ連携基盤(ORDEN)」の運用及びユースケースの創出等による活用促進。府民に対する行政サービスの向上のため「my door OSAKA(マイド・ア・おおさか)」の運用及びサービスの充実による活用促進		
	新規		小規模事業経営支援事業(経営相談支援事業、地域活性化事業)の中で、事業承継、DX等推進、デザイン等にかかる相談等支援を実施		
			カスタマーハラスメント対策を促進するため、支援機関等向けの支援ツールを整備するとともに、支援ノウハウを定着させるための実践的な講習会を実施		

II 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 3 多様な人材の活躍、生産性の向上～

■2025年(令和7年)度当初予算案成長関連事業【大阪市】

※令和7年度当初予算案において成長関連事業として計上したものであり、「取組の方向性」を踏まえて分類したもの。TF事業については今後検討

大阪市合計 2,770,907千円

		新規 拡充	事業概要	事業費(千円)	うち一財
人材確保、育成				15,000	15,000
	新たな労働力の確保		中小企業における人材不足の課題解決を図るため、外国人材受入れに関する支援を実施	15,000	15,000
企業の経営革新(生産性向上)				2,755,907	967,679
企業の経営革新			万博・大阪ウィークに来場する若い世代に向けて市内ものづくり企業の魅力や高い技術力を発信	2,755,907	967,679
			ものづくり中小企業の技術力強化と万博後のビジネスチャンス拡大に向け、「Beyond5G」関連素材の技術開発に対して引き続き支援を実施		
			DXに関する専門相談やセミナー等の支援を実施		
			中小企業の経営課題の解決や新規事業創出、生産性向上、高付加価値化の支援など、総合的に中小企業を支援		
			「5G X LAB OSAKA」を拠点に、機運醸成からビジネス構築まで事業フェーズに応じて一貫した支援を実施		
			大阪産業技術研究所において、中小企業の抱える技術面の課題解決や、共同研究開発プロジェクトの組成や推進、実用化等を支援		

4. 成長を支える都市基盤の強化

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 4 成長を支える都市基盤の強化 ～

成長インフラ(まちづくり・交通・空港)の整備

○これまでの府市一体の取組みにより、都心部や郊外部における拠点エリアの形成、交通ネットワークの整備、関西国際空港の機能強化など、成長を支える都市基盤の整備が進行中

【まちづくり】「大阪のまちづくりグランドデザイン」に基づき、大阪の成長・発展をけん引する拠点を形成(※下記に主な中枢拠点を記載)

新大阪・大阪

- <大阪・関西の中枢、日本中央回廊の西の中心>
- ・うめきた周辺における比類なき魅力を備えた「みどり」空間の形成
 - ・新大阪駅周辺における世界有数の広域交通ターミナルのまちづくり

○うめきた2期

- ・一部区域先行まちびらき (2024年)
- ・全体まちびらき (2027年度予定)



○新大阪駅周辺

- ・都市再生緊急整備地域指定(2022年)

なんば・天王寺・あべの

- <観光・文化・学術・産業の融合エリア>
- ・なにわ筋線整備のインパクトを活かしたまちづくりの促進
 - ・国際集客エリアの都市格を高める多様な都市機能の集積

○なんば駅周辺

- ・なんば駅周辺における空間再編推進事業完成 (2024年度)



出典:南海電気鉄道(株)

中之島周辺

- <水・みどり・光を活かした水都大阪のシンボル>
- ・国際的な業務、文化、学術、交流拠点の形成
 - ・歴史的建造物や水とみどりと光を活かした水都大阪のシンボル拠点形成

○中之島西部

- ・大阪中之島美術館 開館 (2022年)
- ・未来医療国際拠点 Nakanoshima Gross (2024年)



出典:(一財)未来医療推進機構

北部大阪中枢エリア

- <北部大阪の成長・発展をけん引するエリア>
- ・千里中央地区における中核的な都市拠点の形成
 - ・大規模アリーナを中核とした新たなスポーツ・文化の拠点

○万博記念公園駅前周辺地区

- ・2030年第1期(アリーナ)開業予定



大阪城公園周辺

- <国際観光拠点の強化やイノベーション拠点の形成>
- ・インバウンドを含めた観光客を呼び込む「国際観光拠点の強化」
 - ・ICTを軸にした「国際的なイノベーション拠点の形成や国際人材の育成環境の整備」
 - ・「人・モノ・情報の交流の促進」

○大阪城公園周辺地域

- ・大阪城東部地区1.5 期間開発事業公募方針の公表 (2024年12月)
- ・「大阪城公園周辺地域まちづくり方針(案)」取りまとめ (2025年3月予定)
- ・大阪公立大学森之宮1期キャンパス開設 (2025年9月)
- ・1.5期開発(大規模集客・交流施設、新駅、駅ビル、駅前空間、1.5期キャンパス等)のまちびらき(2028年春以降)



森之宮1期キャンパスのイメージ
出典:公立大学法人大阪HP

御堂筋周辺

- <高質で風格のある大阪のシンボルストリート>
- ・世界的ブランドストリート
 - ・人中心のストリートへの空間再編
 - ・御堂筋周辺へのにぎわいの拡充

○御堂筋道路空間再編

- ・側道の歩行者空間化[新橋交差点～難波西口交差点] (2024年度)
- ・人中心～フルモール化に向けた取組み推進 (御堂筋完成100周年(2037)をターゲットイヤー)



フルモール化イメージ
出典:御堂筋将来ビジョン

夢洲周辺

- <国際観光・国際物流・国際交流拠点>
- ・国際観光拠点の形成
 - ・大阪港における国際コンテナ戦略港湾としての機能強化
 - ・人、モノ、情報の交流拠点の形成

○夢洲

- ・夢洲第2期区域のまちづくり開発事業者募集開始 (2025年度後半)
- ・大阪IR開業 (2030年秋頃 開業(想定))



南部大阪中枢エリア

- <南部大阪の成長・発展をけん引するエリア>
- ・中百舌鳥周辺におけるスタートアップ等の集積、産学官連携による新産業の創出、交通結節点にふさわしい交流とにぎわいの創出

○中百舌鳥

- ・中百舌鳥駅周辺活性化基本方針策定 (2024年度)



駅前広場と民間施設整備イメージ
出典:堺市HP

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～4 成長を支える都市基盤の強化～

○これまで、府市一体で都市基盤整備を進めており、まちづくりやインフラ整備が進展

【まちづくり】うめきた2期一部先行まちびらき(2024年)、なんば駅周辺の歩行者空間先行オープン(2023年)

【道路】阪神高速大和川線全線開通(2020年)、府県間道路である国道371号の全線開通(2024年)

【鉄道】北大阪急行延伸(2024年) 【空港】ターミナル機能の強化(T1リノベ、T2拡張)

○今後、現在実施中のプロジェクトを着実に進めるとともに、新たな拠点形成に向けた各種動向の把握や様々なプロモーションによる民間投資の誘発を促進させ、国際競争力を高めるまちづくりを展開していくことが重要

【取組みの方向性(イメージ)】

現在実施中のまちづくり・インフラ整備を引き続き着実に推進するとともに、特に以下の取組みを推進

◆国際競争力の強化に資する拠点形成

- ・ バイエリアには魅力的な観光資源や国際的な物流・人流の拠点が集積。万博などを機に注目が集まり、次なる成長拠点として期待が高まる
- ・ これらの動きを止めることなく、集客交流機能と新産業を中心とした、民間投資を促すまちづくりにより、国際競争力を強化することが必要

バイエリアの活性化

◆都心部のポテンシャルの強化

- ・ これまでの取組みにより、南北都市軸(新大阪・大阪～中之島～なんば・天王寺など)における拠点形成が進展中
- ・ 加えて、今後大きく進展する夢洲周辺や大阪城公園周辺におけるまちづくりなどにより東西都市軸を強化することで、都市としてのポテンシャルを向上させることが重要

東西都市軸の強化

◆大阪の中核を担う拠点の強化

- ・ 都心部周辺等において、多くの都市ストックが更新時期を迎えている
- ・ これらの更新に合わせた計画的な都市の再構築など、府内の様々な地域において、多様な都市機能を備えた特色ある拠点エリアを形成していくことが重要

地域の拠点機能の強化

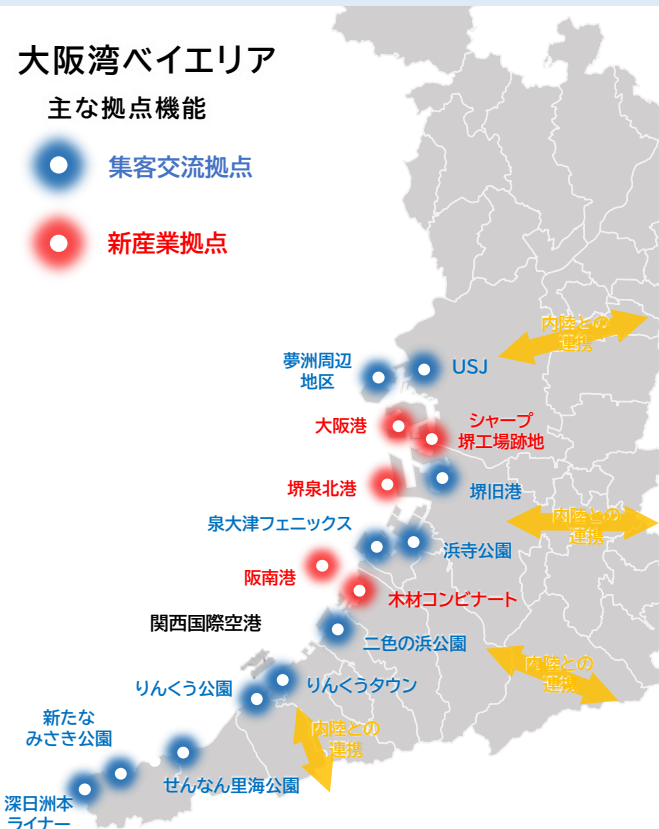
バイエリアの活性化

- 大阪湾バイエリアには、多様で多彩な魅力あふれる地域資源があり、関西国際空港や大阪港など世界とつながるインフラと人流・物流・産業拠点機能を有しており、これらのポテンシャルを最大限に活かし、集客交流拠点の創出や新産業拠点の形成等を図る
- 広域的な視点から、多様な主体との連携のもと、プロモーションによる民間投資の誘発を促進させながら進めることが重要
市町村におけるまちづくりや民間開発の動向を把握・分析し、適切な土地利用転換等の方向性について検討を進める
- 万博を契機として、新技術・新サービスの実証・実装の場として活用するとともに、カーボンニュートラル等の新たな取組を促進する（取組例）
 - ・バイエリアまちづくりプロモーション
 - ・集客交流拠点のネットワーク化
 - ・産業用地の創出
 - ・土地利用調査・分析 など

大阪湾バイエリア

主な拠点機能

- 集客交流拠点
- 新産業拠点



集客交流拠点

府営りんくう公園



出典：事業予定者の提案資料より作成
今後、関係機関との協議を踏まえ、変更となる可能性あり

広場、園路などのほか、
ビーチスポーツ施設、
レストラン、アート・ビジネス
施設を整備予定

・府P-PFI事業（4.9ha）
・2027年4月 開業予定

せんなんロングパーク



出典：泉南市HP

約2kmの長い海岸に沿って、スポーツ
施設、飲食店、地元食材の市場、キャン
プやグランピング施設など多様なコン
テンツやアクティビティが配置

・泉南市PFI事業（26.3ha）
・2020年7月 オープン

阪南・岬エリア



画像提供：阪南市

せんなん里海公園などを活用したエコ
ツーリズムや海洋研修、体験観光の促進
などを推進
PFI事業など民間事業者の創意工夫を
取り入れ、魅力ある「新たなみさき公園」
づくりを推進

新産業拠点

次世代エネルギー拠点

次世代エネルギー拠点化 3港連携イメージ



事業者が、堺・泉北地域におけるアンモ
ニア供給拠点事業の構築をめざし、実現
可否の判断に必要な情報の整理・分析
事業者が、大阪湾湾部におけるグリーン
水素を活用した国内初となる国産e-メ
タンの大規模製造に関する検討を開始

出典：大阪港・堺泉北港・阪南港港湾脱炭素化
推進計画（2024年3月策定）

AIデータセンター



シャープ堺工場
出典：国土地理院の空中写真

大規模なAIデータセンター構築のた
め、事業者がシャープ堺工場の土地
や建物などを取得（見込み）

ペロブスカイト太陽電池



画像提供：
積水化学工業株式会社

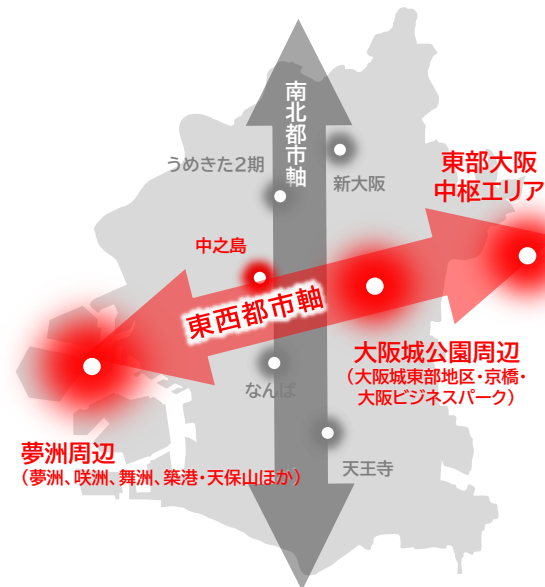
ペロブスカイト太陽電池の量産化に
向けた生産拠点とするため、事業者
がシャープ堺工場の建物などを取得

今後、バイエリアにおける民間投資を促すまちづくりに向けて、タスクフォースにおいて具体的な取組み策を検討

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 4 成長を支える都市基盤の強化 ～

東西都市軸のさらなる強化

- 「新たな国際観光拠点となる夢洲」や「国際観光拠点の強化やイノベーション拠点の形成に資する大阪城公園周辺地域」等、国際競争力の強化に資するまちづくりを推進することで東西都市軸を強化し、都心部のポテンシャルを高めるとともに、その効果を郊外へと広げていくことが重要



夢洲周辺

●夢洲地区

関西・大阪の活力をけん引する新たな国際観光拠点の形成



【第1期】

IRを中心としたまちづくり

【第2期】

万博の理念を継承したまちづくり

【第3期】

第1・2期の取組みを活かした長期滞在型のまちづくり

【第1期】

世界最高水準の成長型IRの実現に向け、取組を推進中
(2030年秋頃 開業(想定))



国際会議場、展示等、宿泊、エンターテインメント、カジノなどの施設を整備

・経済波及効果(運営)(近畿圏)

➡約1兆1,400億円/年

・来訪者数

➡約2,000万人/年

【第2期】

- ・夢洲第2期区域マスタープラン策定に向けた民間提案募集を実施し、2025年1月に優秀提案2件を決定
- ・今後、「夢洲第2期区域マスタープラン」を踏まえ、2025年度後半に開発事業者募集開始予定

大阪城公園周辺

- ・ヒガシの拠点として、更なる国際競争力の向上に向け、大阪城公園へ訪れる観光客の地域全体での回遊性の向上によるにぎわいの創出や、各エリアのイノベーション施設などの連携によるビジネス環境の充実等といった観点から3つのエリアを一体的に捉えたまちづくりを推進

特定都市再生緊急整備地域をめざす3つのエリア

- ・京橋駅周辺
- ・大阪ビジネスパーク駅周辺
- ・大阪城東部地区(森之宮周辺)

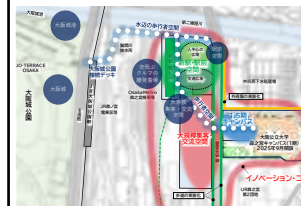
- ・鉄道による地域分断や回遊性の確保に課題を抱える中、JR片町線・東西線の地下化を契機とし、広域道路ネットワークを構築する豊里矢田線の整備促進、JR大阪城公園駅周辺の歩行者空間の充実など地域内の回遊性の向上や人中心の空間整備の充実

●大阪城東部地区

「大学とともに成長するイノベーション・フィールド・シティ」をコンセプトに掲げ、大阪公立大学を先導役にして、多世代・多様な人が集い、交流する国際色あるまちづくりの実現に向けた取組を推進

【1期】 森ノ宮1期キャンパスの整備(2025年9月 開設)

【1.5期】 1.5期開発のまちびらき(2028年春以降)



- ・新駅、駅ビル、駅前空間等の整備
- ・大規模集客・交流施設、1.5期キャンパス等の開発事業者の募集(2025年 2月下旬ごろ開始予定)
- ・大阪城公園接続デッキの整備(2025年度 着手予定)

今後、東西軸のさらなる強化に向けて、タスクフォースにおいて具体的な取組み策を検討

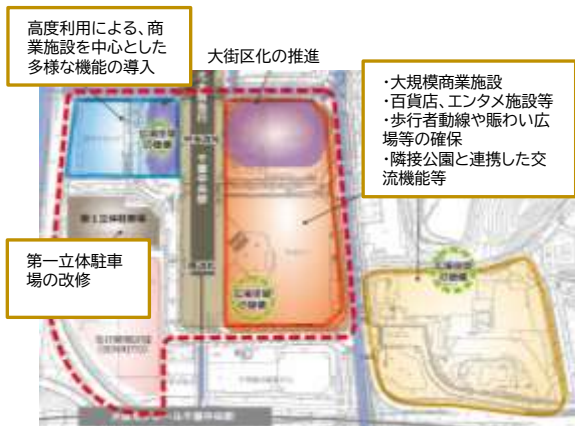
地域の拠点機能の強化

○大阪・関西のさらなる成長・発展に向けては、府域全体での拠点エリアの形成が必要。府内各エリアの価値を高め、都市軸の強化につなげるとともに、エリア周辺における地域のまちづくりを進めることが重要

○各中枢エリアにおいて計画・検討されている拠点開発について、都市軸強化や経済波及効果の高いプロジェクトを支援していく

千里中央地区

北部大阪の都市拠点の形成等を取組み方針とした、千里中央駅周辺の再整備計画を策定(2024年8月改定)



2032年度:事業完成をめざす



大規模商業施設と賑わい広場イメージ
(公園南区から駅東街区方向)



駅西街区
(南東方向から)

出典:「千里中央地区活性化基本計画<改訂版>」を基に作成

中百舌鳥駅周辺

中百舌鳥駅周辺エリアのあるべき姿を見据えた概ね10年間の取組み方針を示す「中百舌鳥駅周辺活性化基本方針」を策定(2024年5月)

北部エリア
多様なひとが新しいことに出会い、チャレンジできる拠点の形成

周辺市街地
エリアをつなぐ、安全・快適に歩いて楽しい魅力ある空間の形成



駅前広場エリア
ひとの交流・活動の中心となる拠点の形成



駅前広場と民間施設整備イメージ

出典:「中百舌鳥駅周辺活性化基本方針」を基に作成

市街地リノベーションの促進

- 人口減少や高齢化などを背景に空き家・空き家店舗、施設の老朽化が大きな社会課題になっている
- このような社会課題の解決のためには、地元市との連携のもと、プロモーションによる「民間投資の喚起」を図り、広域エリアを対象とした官民連携による「市街地のリノベーション」を進め、人中心の空間再編による「拠点エリアの形成」を図ることが重要



古川橋駅北側周辺整備



出典:門真市HP

多様な主体が一体となったまちづくり

- 市町村や民間事業者等の自律的なまちづくりを効果的に後押しするため、多様な主体が一体となったまちづくりのコーディネートや、まちづくり情報の提供・技術的支援等に取り組み、大阪全体のまちづくりの一層の推進を図る



自治体を持つ課題と企業が持つ解決力をつなげる「企業マッチング」の様子
(南河内地域まちづくり検討会)

今後、地域の拠点機能の強化に向けて、タスクフォースにおいて具体的な取組み策を検討

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 4 成長を支える都市基盤の強化 ～

まちづくり・都市基盤TF

○経済・産業活動を支えるまちづくりを推進するとともに、成長インフラを整備するという考え方のもと、

- ・成長インフラの整備（まちづくり、交通、空港 等）
- ・バイエリアの活性化
- ・東西都市軸（夢洲周辺、大阪城公園周辺 等）の強化
- ・地域の拠点機能の強化

に関する事業を実施

■2025年(令和7年)度当初予算案成長関連事業【大阪府】

※令和7年度当初予算案において成長関連事業として計上したものであり、「取組の方向性」を踏まえて分類したもの。TF事業については今後検討 大阪府合計 63,745,789千円

	新規 拡充	事業概要	事業費 (千円)	うち一般財源
まちづくりの推進			4,649,198	572,939
まちづくりの推進	新規	官民連携による「市街地リノベーション」を進め、大阪全体の発展を牽引する拠点エリア形成を図るための検討を行い他の府内市町村にその成果を水平展開	4,649,198	572,939
		市町村への技術的支援の強化に向けた検討調査、万博開催の機会を捉えた大阪のまちづくりへの投資意欲を高めるための戦略的な情報発信により、大阪のまちづくりグランドデザインを推進		
		新大阪駅前、大阪城東部、夢洲・咲洲地区における広域拠点開発に係る企画、調整を府市共同で行うとともに、各地区において策定したまちづくりに関する方針等に沿った検討を実施		
		大阪城公園へ接続する歩行者デッキ整備にかかる準備工事		
		多様な都市機能を備えた拠点エリアや産業競争力の強化に資する産業拠点の形成、都市機能立地等の再編のため、土地区画整理事業、市街地再開発事業へ補助		
		うめきた2期区域において、「みどり」を中心とし、斬新で独自性が高く、世界に強く印象付ける「大阪の顔」となる都市空間をもつまちづくりを実現		
		広報PRで安全安心な制度内容や利用方法を周知し、ライドシェアの利用を促進し、利用者の声等の調査でライドシェアの効果を検証し、制度改善		

	新規 拡充	事業概要	事業費 (千円)	うち一般財源
成長を支えるインフラ			59,096,591	5,682,318
成長インフラの整備	新規	官民で組織する協議会による積極的な活動により、リニア中央新幹線・北陸新幹線の大阪までの早期着工、開業を実現	59,096,591	5,682,318
		国土軸上の新大阪や大阪都心部(キタ・ミナミ)と関西国際空港や大阪南部地域間のアクセス強化等に資するなにわ筋線の整備促進		
		広域的な鉄道ネットワークを形成する大阪モノレールの延伸の推進		
	新規	大阪・関西万博開催後の成長を見据え、大阪が抱える交通課題を抽出・整理し、その解決策や今後の方向性について検討		
	新規	ビッグデータを活用した自動車交通流の分析を実施。新たな渋滞対策などの取組を推進		
		淀川左岸線(2期)の整備促進により、広域的な高速道路ネットワークのミッシングリンクを解消		
		大阪府都市整備中期計画・都市計画整備プログラムに基づく都市計画道路等の整備推進		
		鉄道の高架化により交通渋滞や事故の抜本的な解消、都市交通の円滑化を図り、周辺地域の生活環境や都市機能を向上・活性化を促進		
		主要な既存鉄道駅の可動式ホーム柵整備について鉄道事業者に対する補助金を実施		
	拡充	南海トラフ地震発生時に緊急輸送道路等に影響を及ぼす鉄道施設における耐震化等の対策について、鉄道事業者に対する補助を実施		
	新規	地域公共交通の課題解消に向け、多様な主体による取組(共創)実施のため必要な検討等を実施		
		グリーンインフラを活用した都市づくりの推進		
		広域的な高速道路ネットワークのミッシングリンクの解消に向け、淀川左岸線延伸部の整備を促進		
		官民連携による公園の官営運営の推進		
		阪南2区第2期整備区域の推進		
		【再掲】府市共同で大阪”みなと”でのカーボンニュートラルポートの実現を効果的に推進するための戦略検討・支援制度立案等を実施		
		堺泉北港汐見沖地区・助松地区埠頭再編		
		堺泉北港汐見沖地区夕風第2号岸壁の整備		
		木材コンビナート貯木場・環境影響評価及び調査設計		

Ⅱ 万博後の持続的な成長に向けた道筋 ～ 4 成長を支える都市基盤の強化 ～

■2025年(令和7年)度当初予算案成長関連事業【大阪市】

※令和7年度当初予算案において成長関連事業として計上したものであり、「取組の方向性」を踏まえて分類したもの。TF事業については今後検討
大阪市合計 80,833,261千円

		新規 拡充	事業概要	事業費(千円)	うち一財
まちづくりの推進				3,198,624	1,655,144
まちづくりの推進			歩行者空間の環境整備のほか、公共空間の花飾りなど、まちの景観向上につながる取組を実施	3,198,624	1,655,144
			ライドシェアの利用を促進に向けた制度内容や利用方法の周知及び効果の検証等の実施		
			御堂筋や鶴見緑地などで、みち・公園の未来を体験してもらえるような新たな取組を実施		
			グランドデザインの推進に向け、イベント開催や情報発信ツールを活用したプロモーション、まちづくり指針の充実など、府・市・堺市が共同で実施		
			令和9年度の全体まちびらきに向けた「うめきた公園」の整備、用地取得等を実施		
			「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針2022」を踏まえ、まちづくりの具体化に向けた検討調査を府市共同で実施		
			大阪城東部地区のより一層の活性化に資するまちづくりの検討調査を府市共同で実施		
	新規		第二寝屋川の水辺の歩行者空間から大阪城公園駅へ歩行者デッキを、大阪府の宿泊税等を活用し、民間事業者と協働して整備		
			京橋駅周辺の国際競争力の強化に資する都市再生の推進や民間都市開発等を促進に向けたまちづくりの検討調査を実施		
			夢洲における国際観光拠点の形成に向け、夢洲2期区域マスタープランを踏まえたまちづくりの実現手法に関する検討調査等を府市共同で実施		
			夢洲第2期区域において開発事業者を募集		
			築港南地区再開発に関する調査・検討		

	新規 拡充	事業概要	事業費(千円)	うち一財
成長を支えるインフラ			77,634,637	5,010,448
成長インフラの整備		シャトルバスや一般の車が走行するアクセスルートにおいて、安全かつ円滑な移動を実現するための車両走行空間の環境整備を実施	77,634,637	5,010,448
		夢洲駅南西出入口通路(IR区域接続)整備工事、夢洲幹線道路雨水管整備工事、此花大橋歩道設計、係留施設の周辺環境整備に係る設計 等		
		IR用地にかかる液状化対策・地中障害物撤去		
	拡充	夢洲地区での物流関連車両の円滑な交通を確保するための対策を実施		
		夢洲第2期区域において、土地利用に必要なインフラ整備(設計)		
		なにわ筋線の整備を促進		
		リニア中央新幹線や北陸新幹線の早期全線開業の実現に向けた検討、国等への働きかけ		
		広域的な鉄道ネットワークの形成と、沿線地域の活性化に向け、大阪モノレールの延伸を実施		
		阪急京都線・千里線の淡路駅付近の約7.1kmにおいて鉄道を高架化することにより、17箇所(うち1箇所は吹田市域)の踏切を除却		
		今後の街路整備を円滑かつ着実に推進していくことを目的に、整備の優先度が高い路線や課題路線における効果的な整備方策や整備効果などについて調査・検討を行うもの(うち、JR片町線東西線)		
		特に優先的な取組みが必要な密集市街地(優先地区約1,300ha)において、各地区外周の都市計画道路を骨格路線として整備することにより、延焼遮断、避難路等の機能を確保し、防災・減災対策を推進		
		渋滞の解消や道路ネットワークの向上など、良好な都市環境をつくるため、本市の骨格を形成する都市計画道路を整備		
		都市計画道路の整備にあわせて、電気、通信等の電線類を道路の地下にまとめて収容する電線共同溝を整備		
	拡充	民間鉄道事業者が行う高架橋及び駅の耐震補強に対する補助		
		民間鉄道事業者が行う可動式ホーム柵設置に対する補助		
		次世代の道路交通環境を見据えた基礎検討調査業務		
		高速道路費((独)日本高速道路保有・債務返済機構出資金)		
		淀川左岸線(2期)の整備		
		淀川左岸線延伸部の整備		

Ⅲ 今後の進め方

◆ 令和7年2月 副首都推進本部(大阪府市)会議において、現状報告

- 
- 有識者等の意見聴取をしながら、大阪経済の分析など万博の効果について多角的な視点から検討をさらに深める
 - 「取組みの方向性」等について、府市両議会での議論
- 
- 戦略全体の方向性及びタスクフォースごとの方向性をさらに検討
 - 令和7年度予算に計上した施策、事業に加え、新たな取組みをタスクフォースで検討



国・経済団体と連携し、オール大阪の戦略として検討

◆ 令和7年夏頃 Beyond EXPO 2025(案) とりまとめ ⇒府民意見等を踏まえ、成案化

※「Beyond EXPO 2025」に基づく具体的施策について、令和8年度当初予算案(令和7年度中の補正対応も含む)で計上するとともに、国にも提案